京城日報

三日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢（郵送料前金）一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲欄内一行金壹圓　▲特別指定は二割增　▲三號活字は五號活字の三倍　▲六號活字は五號活字の一行
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　松口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號（編輯用）三四五番　（營業用）二二一番・六番　振替貯金口座京城三〇〇番

○法王特使賀表捧呈

葉山に御避寒中の　天皇陛下には羅馬法王特使引見の爲三日午前還幸あらせられたり特使は十一時宮中に參内鳳凰間にて謁見の儀あり特使より法王の賀表を捧呈せる後豐明殿に於て皇族各宮殿下大隈首相以下を召され御宴の御催ふしありたる上再び葉山に行幸遊ばされたり（東京電報）

○蒙匪多勢を得て北京へ

露都來電に據れば最近山西省歸化城を占領せる蒙古の匪徒は新に二萬の兵を得たり其中には支那兵一個旅團あり匪徒等は砲十四門を有し北京を指して前進中なりと（紐育電報）

▲道を張家口に取る　蒙匪の勢力益々猖獗にして道を張家口街に取り北京を指し進擊中なり袁總統は狼狽の極潜かに英國に仲裁を依賴せりと說高し（北京電報）

○雲南事件と協定依賴

支那政府は某國公使に對し雲南事件の協定を依賴せり（北京電報）

○奉天警戒愈嚴

奉天城内の警戒嚴なるは屢々報じたる所なるが又もや配兵を增加し各城門には是迄五名宛を置き午後六時より同十二時迄を警戒時間とせしが更に各門八名に更員し翌午前六時迄間斷なく嚴戒し居れり（奉天電報）

○段氏と進爵請求

奉天の第二十七師長張作霖は曩に子爵を授けられ北鎭縣第二十八師長馮德麟は同時に男爵を得たるが奉天段將軍は尙彼等の歡心を繫ぐに足らずとし張を伯爵に馮を子爵に進めん事を中央政府に請求せり（奉天電報）

○大製革工場設計

支那全國の皮革工場は其數二千餘戶なるが製革の外國より輸入せらるゝ者一箇年約千百十九萬圓に上り歐洲戰爭の起りしよりは供給不足となりて支那内地に於ける該事業の經營頗る有利なるより農商部は上海及び奉天に官營の大製革工場を開設せんとし目下其準備中なり漢口及天津にも分工場を設くる豫定にて多數の外人技師を聘用すべしと（奉天電報）

○英獨海軍の活動

コペンハーゲン來電に據れば諸威沿岸に於て英獨海軍の著しき活動あり多數の英國軍艦及び獨逸潜航艇諸威領海に於て認められたり（倫敦電報）

▲各處にて認めらる　スタヴアングルに到著せる一汽船の報告する所に據れば同船は多數の英國驅逐艦を見たりと又他方面よりの電報に據れば巡洋艦及び驅逐艦陸地に接して南方に航行し二十八日にはスカグラク海に於て四隻の獨巡洋艦を見たりと（倫敦電報）

○伊太利の船舶統一

ミラン來電に據れば、伊太利國内の船舶業者は全國の商船を政府と實業家との聯合委員の支配下に置き以て運輸上の船舶の割當を一任す可しと提議しつゝあり（倫敦電報）

○獨の倫敦蘇士襲擊準備

獨逸は新式飛行機を建造して倫敦を襲擊する一面蘇士運河を襲擊せんとし必成を期し準備進行中なりと（東京電報）

○土耳其皇太子自殺說

土耳其皇太子は自殺したりと傳へらる（東京電報）

▲附記、電文簡にして自殺の原因等詳にするを得ず

○山縣公訪客多

山縣元帥歸京と共に政界の觀聽一齊に公の動靜に集中し政客の目白椿山莊を訪問するもの昨今頗る多數なり（東京電報）

○政友態度一變

政友會の態度は漸く一變し沈默を破り内閣糺彈演說を諸所に開始し來る八日頃には帝國議會に政府彈劾案を提出し貴族院に對し大に策應する處ある可しと傳らる（東京電報）

○上院形勢緩和

上院に於ける對政府策幾分緩和されたる模樣あり山縣元帥の居中調停の成否は猶不明なりと傳へらる（東京電報）

○東拓改正案提出期

東拓法改正案は來週中議會に提出せらるべしと（東京電報）

○露債引受案成る

露國大藏證券引受に就ては這回日本銀行に於て多少讓步する所あり其引受協定基礎案成立せり該條件は額面發行高五千萬圓五分利前拂とし一年期限なりと（東京電報）

○東阪間飛行　時間

所澤飛行隊にては東京大阪間を三時間にて飛行し得べき見込を立てたり（東京電報）

◉御歸途の露太公

三十一日午前安東縣に御著相成りたるミハイロウキツチ太公殿下は同處にて寺内總督、安達公使等の接伴員井口軍司令官、大屋長官、立花旅務總長等の奉迎員と御別れを惜ませ給ひ、御懇篤なる御挨拶ありたる後隨員一行の外中村關東都督、國澤滿鐵副總裁、木村式部官、森總督附武官田中海軍大佐等扈從しまつりて九時三十分といふに同驛御發車あり、途中安東縣にては段將軍、本鄕師團長等をはじめ各國領事、官民等多數の奉迎送を受けさせられ御停車約一時間にして長春に向はせ給へるが一行中コザコフ極東局長、ベサツク大佐の二氏は此處より暫く御別れ申上げて哈爾賓に御待受けの手筈を定め北京に向へり、斯くて同日午後十一時四十分長春驛に御著ありて出迎への日露兩國守備隊、東淸鐵道長官其他多數官民に御丁寧なる御會釋を賜ひ東淸鐵道より差し廻せる露國貴賓車に御乘替あり約一時間の後御機嫌麗はしく御歸途に就かせ給へりと

◉安達公使一行出發

三日午前八時三十分南大門驛發列車にて露國太公殿下接伴員安達公使木村式部官田中海軍大佐及び隨官二名の一行は内地に向け出發せり驛には立花中將吉原野田東拓正副總裁及び森少將其他多數の見送人ありたり

◉中樞院初會議

中樞院にては二日午後一時より院内會議室に於て本年初頭の會議を開催せり、同院顧問、贊議、副贊議等は勿論、寺内總督、山縣議長、小松局長等出席し、總督より一同に對し重要事項に就きて一場の示達あり、了りて會議に移り午後四時散會したるが今後は毎月末例會を開きて同院の管掌事務に付き協議打合を爲すことゝなれり

◉一部長會同（第三日）

各道第一部長會同第三日は前日に引き續き三日午前十時より總督府第二會議室に開催、各一部長は勿論總督府よりは寺内總督、山縣政務總監以下係各部長官、局長、課長等出席し、山縣政務總監統裁の下に豫定の日程に入り各自意見の陳述ありて午後三時散會したり

◉鑛業熱益旺盛

鮮内鑛業の出願は昨秋共進會の開會以來頓に激增し月々の出願件數は從來の三倍以上に達せるは既記の如くなるが、改正、讓渡の出願亦之れに伴ふて異常の增加を來せる結果、手數料の如きも一箇月二萬圓以上となり、從來に比せば二倍以上の收入ありと因に昨年十二月中の出願件數を見るに最も多きは金鑛にして四十八件を算し、砂鑛二十一件、金銀、銅鑛十四件、黑鉛六件等順次相踵ぎ總計百二件に達せり、又同月中の手數料は二萬五千圓に上れるが這は出願件數其他の增加に由ること勿論なるも、鑛業稅納期切迫の爲め減區の出願者多きも慥に其一因なりと、尙ほ重石熱は近來非常の勢にて之を發掘す可く土石採集を出願するものゝ日々踵を接し、一月中の如きは二百件以上に及べりと

◉慶北鑛床調査

總督府鑛務課にては慶尙北道管内に於ける鑛床調査を開始す可く三日田村技師一行を同地に派遣せり、調査期は五十日間にして各郡に亘り精細の調査を遂行する豫定なりと

◉營林廠材一定

新義州營林廠に於て同廠及び需要者相互の利益の爲め朝鮮に於ける現在の如き錯雜なる製材品種の減少整一を期し二月一日より廠材の規定寸法を左の如く協定し其の寸法以外の注文に對しては一割高に販賣する事とせり

△挽材　五寸角、四寸五分角、四寸角、三寸五分角、三寸角、二寸五分角（四寸に二寸角、四寸に一寸角、三寸五分に一寸七分角

△小割材　一寸角、一寸二分角、一寸四分角、一寸五分に六分角、二寸角、三寸四分に五分角、三寸五分に六分角、三寸八分に七分角

△板材　二分、三分、四分、六分、七分八分、寸、寸二分

△木摺　普通幅一寸五分厚三分

故に一般の建築並に木材を使用する設計には成るべく上記の寸法に依るを利とす亦東洋の木材界は諸種の關係上昨年來一割以上の高騰を示せるも營林廠の製材は前項の改正を斷行せる爲め僅々五分の値上げに止むるを得たり（新義州營林廠某技官談）

◉暗礁發見

慶尙南道船津沖合にて未だ海圖に記載なき暗礁を今回發見公示せられたり

一、位置　船津沖良島の北二十六度三〇分四距離一哩、北緯三四度五八分三一秒、東經一二八度〇〇分三〇秒

一、深さ　低潮時一尋二

一、右暗礁は多數の岩石より成り幅二十尺長三十六尺周圍は水の深三尋底質は泥なりと

仁川

▲商議委員會　仁川商業會議所委員會は組織會として二日午後二時より開會五年度豫算に付協議したるに支出の部は全部承認したるも收入の部は原案を修正する事となしたるにより第二項評議員會を召集したるも賦課徵收方法を根本より變更することに決し午後九時散會せり

▲商議第二次總會　仁川商業會議所にては三日午後一時より同所樓上に於て第二次總會を開會し大正五年度豫算案を附議す

▲倉庫設立進捗　仁川穀物協會關係有志者が發起中の倉庫設立の件は其後準備著々進行し其敷地として稅關構内元仁川商業會議所舊所管海關附近四百二十五坪の借受方を仁川稅關の手を經て其筋に請願中なるが多分本月中旬頃其認可に接するなる可しといへば愈々其工事に著手するは三月中旬頃なるべしと

元山

▲北鮮一帶の暖氣　北鮮地方一帶は近年に無き暖氣にして殊に元山地方の如きは本年に入りて僅かに二回の降雪ありたるも地に影を止めず、一月中旬に於て氷點下十二度の寒氣襲來したるも其後は概して溫暖の日多き爲め河川は夜に入りて薄氷を張るのみ、淸津方面も暖氣打續き沿岸の海面は未だ結氷を見ざる由

▲築港工事の進捗　元山築港工事の近況を聞くに目下工事中の甲種荷揚場埋立工事は既に一千七百坪の埋立を了し本年度内には約三千坪の埋立を終るべき見込みなり一方防波堤地點に於ける基礎石工事は一月中旬捨石の買入れ入札を行ひ同月下旬著手の筈

▲元山府豫算發表期　元山府に於ける來年度豫算の編成に就ては目下府尹の手に依り著々作成中なるが來年度に於ては水道事業費金の償還、府立病院其他の豫算多き爲め之れが編成には頗る苦心を要する由にて之れを附議するは二月下旬頃なりと

▲咸南島嶼土地調査　咸鏡南道管下永興郡所屬柳島猿島には今回臨時土地調査局より土地調査を爲す旨通牒ありたるが其他の島嶼には之れを施行せざる由

平壤

▲農民の節季經濟　舊節季に際したる朝鮮農民の經濟狀況を聞くに彼等が唯一の生命とする米價は移出澁滯の結果逐日下落し昨今殆んどどん底の感あり爲めに農民は一般市況の順調に復したるにも拘らず反つて物價の騰貴に苦しみつゝ有る者の如し只暖氣異常にして引續き勞働に從事し得らるゝを以て平年結氷期の數倍に當る收入を得且つ衣服燃料等に多大の節約を爲し得る都合上多少餘裕有る模樣なるが、これとて朝鮮人の習癖として冬閑中の間業を營まずして徒食に耽り居る者多き上に昨年來火藥の缺乏と加里の騰貴等の影響を被りて鑛業の中止或は緊縮に伴ひ失職者多く生じたる地方に在つては一般世人の景氣挽回を謳歌する程彼等は經濟狀態に對し今迄に樂觀し能はざる事情多く存ずるの如し然し彼等農民は本年の如き暖氣は凶年の前兆なりとて古老の言を信じ急に米穀を貯藏せんとて買惜みつゝ有れば今後鮮人の金融は或時季迄は不況に陷るやも計られずと一部の金融業者は憂慮しつゝ有り因に鮮人間には土地熱大に昂り此の方面の資金の需要多少增加すべき模樣なるも極めて微々たる者なりと

▲府協議會開會　平壤府にては三日午後一時府廳樓上に府協議會を開きたり諮問事項左の如し

一、豫算追加の件
一、第二期繼續土木事業變更の件
一、府稅營業稅附加に對する異議決定の件
一、府稅營業稅減免に關する件
一、府稅條令改正の件
一、特別基本財產處分に關する件
一、積立金處分に關する件
一、傳染病患者の收容條件追加に關する件

大邱

▲李道長官出張　慶尙北道李道長官は各郡に對し御大典記念桑苗植栽を獎勵しつゝあるが是が監督視察の爲め△九日倭館經由星州宿△十日善岸泊△十一日達城郡妙洞泊△十二日歸廳の豫定にて出張す可し

▲蠶業講習所入學生　總督府勸業模範場女子蠶業講習所に於ては來る四月一日より講習開始の筈なる第七回講習生の募集中なりしが慶北道にては地方廳の推薦に依り入學せしむべき者は二名なりと

▲達城郡陸地棉成績　達城郡に於ける五年度陸地棉栽培豫定面積は三十町步の筈なりしも角本道技手出張し郡廳と協力し是が栽培を獎勵せし結果豫想以上の好成績にて三十一町步の栽培豫約をなすに至れりと

▲玄風道路開通式　慶北達城郡玄風統營間二等道路開通式は六日擧行の筈にて玄風在留民の發起なりしが客月三十日吉羽郡書記出張の上達城郡廳主催として擧行するを得策とし邑人側と協議全般の打合せを了し大邱關係官廳には其々案內狀を發する事となり玄風邑民も出席者多數の見込にて定めし盛會を極むべしと

▲自衞會夜警勵行　達城郡壽城面上洞にては客年來自衞會の規則を實行し壯丁は每夜輪番夜警の勵行を爲し來りしが同洞參事秦喜泰は客年十二月二十四日より每夜酒肴料金十八錢宛一箇月五圓四十錢を惠與し居れるにぞ大いに感じ猶一層の奮勵を爲しつゝあり

▲道路竣工と民心　從來達城郡玄風地方は道路險惡甚しく交通不便を感じ居りしが今回玄風統營間の二等道路竣成を告げたるを以て之れ全く當局の賜なりとて一般の悅び一方ならず殊に玄風橋及び洛東江鐵岸工事の巧妙なるに驚き附近の鮮老人等は態々見物に出懸くるもの多し

▲岸道技師出張　慶北道廳岸技師は勸業視察の爲め二月二日より向ふ一週間の豫定にて忠淸南道に出張せり

靈山より

▲最近金融　慶南靈山は舊節期に際し種々の決濟資金納稅金冬物日用品購入資金等の需用あり一方米價好況の爲め農家資金の流入圓滑に且つ金融業者の回收亦良好にして繁忙活況を呈しつゝあり

▲市場取引　當地方特產物たる煙草は上一圓及一圓六十錢中一圓十錢下七十錢にて一月中已に手合を了したり市場穀價籾一石四圓七十錢大豆五圓麥三圓三十錢を上下しつゝありて玄米の手合皆無なり

□客中より　中島生

南大門驛頭の霜白けれども漢江に氷を見ず。京釜急行車内は暖に過ぎて、襯衣の下に汗を覺ゆ。冬景未だ改まらざれども陽光は正に春也。但だ山隈茅屋の傍に梅花なきを憾とす。一天淸澄然かも春水は之よりも濃碧也。（二月二日、群山行途上大田驛にて）

陜川より

▲經濟近況　慶南陜川地方の金融界は久しく緩漫沈滯の跡を受け充分の活氣を呈するに至らずと雖も迎春並に決算期資金の需用を喚起し加ふるに地稅第二期徵收も開始せる事とて此方面への資金も起り金融界は聊か引立たる氣配あり而して此等の資本の多くは生產物代金等を以て充當し金利は何等の影響なくして依然三步位なり而して市場は每市の出穀あり賣行良好而して價格は市日每に高値を唱へ玄米は前月に比し二圓内外の上騰をなせり而もなほ上向一方の好況を呈し昨年とは正反對の現象なり農民の懷中も比較的順調最近穀價白米十二圓八十錢玄米十一圓五十錢大麥四圓五十錢大豆七圓二十三錢を示しつゝあり

釜山

▲紙料會社大企畫　絕影島紙料會社は昨夏神戸鈴木商店にて買收後久しく休業せしが今回パルプの昂騰と又一面に於ては原料たる蘆田の獨占權を得たれば同會社にては愈々投資大々的に製造すべく目下其準備中なり或は江原道に本社を建設して釜山の現工場を支社とするやも計られず其れ等に關しては多少入り込んだる事情も含まれ居る模樣なり

▲運輸部消防演習　陸軍運輸部釜山支部にては二日午前十時より消防演習を擧行す先づ伊藤支部長武富大尉器具機械の點檢及び放水演習の檢閱を行ひ了つて一場の訓示をなしたり

▲馬山商議組織　新會議所令に依る馬山商業會議所にては定款の承認調印結了次第其筋に設立申請を爲す運に至れり

▲鎭海學校議員選擧　二月十五日擧行す可き鎭海學校組合會議員の選擧運動意外の激甚を加へたるもの、如く目下候補者として陣頭に立てるは九鬼長楠、松尾重信、白木爲次郎、上田末太郎、森澤藤次郎、野崎常藏、西川太郎一、山本忠、淺岡甚助、光成久吉、久富鐵一、大木卯一、遠藤保の諸氏なり

群山

▲最近戶口數　群山警察署管内に於ける最近戶口數を聞くに内地人戶口數一千五百八十戶男三千二百九十八人女三千三十五人鮮人一萬三千零七十三戶男三萬一千二百二十八人女二萬九千百三十一人外國人四十一戶男三十四人女十四人にて戶數合計一萬三千六百九十四戶人口數合計六萬六千七百三十二人にして戶數人口共に年々著しき增加率を示し居れりと

▲論山學校增築　論山尋常小學校にては最近兒童の激增と共に校舍の狹隘を告ぐること甚しく爲めに論山學校組合にては愈々二千五百圓の工費を以て增築するに決し來る四月新學年開始迄には竣工せしむべき豫定なり又た同所公立普通學校も八千圓の工費を投じ增築準備中にありと

▲江景署長辭職　江景警察署長中西淸吉氏は昨年一月光州より轉任し來り公私共に熱心江景の爲めに盡す所少なからざりしが今回都合に依り辭表を提出したり氏の如き溫厚篤實の良署長を失ふは江景の爲め惜むべし

▲群山圖書館近狀　群山教育會圖書館建物は群山農事組合の寄附に成る大なる建築にして藏書内容の充實を務め設備整ひて殷盛を極む群山圖書館は大正四年度に於て藏書數僅々二百冊に過ぎざりしが御大典記念として書籍の寄贈を受けたるもの多く本年度は更に圖書購入豫算を計上し愈々内容の充實を計る筈なりと因に四年度一箇年間の閱覽成績は貸出冊數一千零八十二冊貸出人員一千五百人閱覽人員二千百六十五人なり

人事消息

▲豐島精太郎氏（旅順要港部主計長）二日午後釜山上陸北行
▲久保要藏氏（滿鐵理事）同上鮮滿急行にて北行
▲廣江澤次郎氏（廣江商會主）釜山より三日朝歸京
▲ボスクロスキー氏（東京駐劄露國大使館附武官）二日南行内地へ
▲足利維衛氏（前京城青年會副幹事）五日京城出發京都に赴き當分同地に滯在
▲木島駒藏氏（會計課事務官）會計檢査の爲め三日咸鏡南北道に出張
▲田村英太郎氏（鑛務課技師）鑛床調査の爲め三日慶尙北道に出張

偶吟　無佛　陳人

高張世間人盡愚。手低事々我醉吾。桃紅李白人爭說。一樣春風各自殊。

風光る伊勢路へ
東宮殿下大廟御報告の行啓

近く立太子禮を擧げさせ給ふべき東宮殿下には來る五月の交を以て伊勢神宮へ行啓相成り親しく立太子の御報告祭を行はせらるゝやにて此程宮内省より神宮司廳へ何等かの内命ありたる模様なるが御旅館は昨年今上陛下の御駐泊所に充て參らしたる神宮司廳を其の儘御使用相成るべしと(東特電)

獨逸國旗を引卸せ!!
瑞西の群衆獨逸領事館に迫る

ベルン(瑞西)來電によれば獨逸皇帝の誕生を祝せんが爲めルーセンの獨逸領事館にては獨逸の國旗を揭揚したるに同市の群衆は獨逸國旗に代ふるに瑞西國旗を以てせん事を要求し警察官の制するをも肯かずして獨逸國旗を引卸さしめ其紋章を傷けたり(倫敦電報)

最新式潜航艇來る
帝國海軍に加はりたる新なる威力

三十一日午前八時晩香坡より横濱に入港せる英國汽船モンテイーグル號にて横須賀鎮守府宛の潜航艇二隻到着せり艇は全部解體しありて瞥見し難きも到着材料より察するに從來の潜航艇に比して餘程大型にて少くも八百噸乃至千噸位のもの\、如く右は歐洲戰亂に鑑み帝國海軍より米國の造船所に注文したる最新式の威力絶大なるものなりと(横濱電話)

浪荒れ狂ふ舞水端
坐礁せる地久丸=其昔辰丸の運命

地久丸が三十日夜來吹雪の爲めに閉ぢ込められ行衛不明なる事は逸早く報道し置きたるが其の捜索の爲め警察側よりは一日朝城津發忠清丸次で同日午後清津より金羅丸出動し陸軍側よりは御用船翠平丸元山より出航して其の捜索に當りしが一日朝遂に忠清丸は該船が清津、城津間のカルチン岬北端、舞水端北八海里の雲岬灣に於て陸岸に乘り揚げ坐礁せるを發見し乘客並びに荷物は無事城津に輸送せり三十一日は同地附近一帶の大風雪あり吹雪の爲め咫尺を辨せず平常の如く陸に接して航行するは危險なるより各船は常に沖合に向つて進路を採るが例なるに同船は潮流或は風浪の爲め沖合に進行し得ざりしか或は進路を誤りしか三十一日午前二時より五時の間に於て急速力を以つて同地の斷崖上に乘り上げたるものと察せらる該船は西の宮辰馬商會よりの傭入船にして明治二十三年英國に於て建造せられたるものなるが日露戰爭後支那革命當時に南支那に多數の兵器を輸入して國際問題を惹起せる有名なる辰丸事件の辰丸は實に地久丸の舊名なり因みに積載荷物は何れも阪神並に元山地方行なりしと(城津)

舞水端に擱座せる地久丸

熱田丸出帆す
船體に異狀なく無事浮揚す

歐洲行郵船熱田丸(八千五百噸)は一日午前七時佛國大使館附松村海軍大佐外一等客四十二名二等客十二名、特別三等七名の旅客貨物を滿載して門司に入港岸柳島附近より迂回せんとする際折柄濃霧深く立ち籠めたる爲め進路を誤り同島の東北に約二十度の斜傾を爲して坐洲したれば鐵道院の曳船、山科海事工業所の救助船其の他多數の汽艇驅附け曳卸しに努め一日夜漸く浮揚し遭難個所は砂地なりし爲船體に異狀なく二日出航せり(門司特電)

苦肉の計
革命黨員を以て革命黨員を制す

先頃支那の陸海軍統率辦事處にては各省各機關に向つて黨人の行動を嚴重監視すべしとの電命を發したが尤も嚴重を極めしは上海にして同地は探偵の親分米占元をして暗殺隊を組織せしめ専ら黨員の行動を詳細に偵察せしめ居り右暗殺隊員の數は合計四百餘名ありて何れも以前革命黨に關係し同黨の内情を幾分なりとも知得し居れる者より採用したるなりと(上海)

殊勳、SOSの信號
重要書類の燒棄=最後の犬一疋
—八阪丸乘組員神戸に入港す—

昨冬地中海に於て撃沈された八阪丸の乘組員及び船客は一日神戸入港の佛國汽船アンドレー、レボン號で到着した船客は何れも山脇船長の勇敢な行動を賞しつゝ語る『丁度二十一日の晝間の事でしたよ私達が甲板上で遊んで居た時で最早ボートサイドも數時間で達せると云ふので

△潜航艇の噂 もありましたが危險地帶を脱したと思つて一同安堵して居たのです其時突然船首に當つて非常な音響がしたので遣られたなと思ふ間もなく大騷ぎ斯ういふ間にも殊に眼に付いたのは山脇船長の行動で船橋に上り乘組員を指揮しゐたが乘客や乘組員全部が乘移るのを

△最後迄見届 け殊に未だ犬が一匹殘つて居ると云ふので之を助け生物と云ふ生物は全部助けてから縄でズル／＼と降りてボートに乘移られ八阪丸の沈沒の最期を見届けると云ふもの實際

△沈著で勇敢 なものでした無線電信を掛けたらボートサイドから直迎ひに行くとの返電が來たから大丈夫です』と一同を慰めてくれたので皆氣丈夫でした一隻に三十人死十隻のボートが佛國の驅逐艇に救はれる迄約

△九時間漂流 して居ました夜になると波が大分出ましたが何の不安もありませんでしたがボートサイドに著いたのは二十二日の午前九時半でした其れ迄はビスケットと水とで生命をつないで居ました』云々更らに某船員は悟つて曰く『遭難の刹那の中に私の感じたのは

△河田事務長 が悠々としてお客から預かつた金錢及び貴重品を一々渡して居られたことや船長專屬の永見といふ男が豫ての命令通り重要書類を取り出したがその時は已にボートは見當らないので海の中に飛込みボートに救はれてその中で

△燒き捨てた などはまア殊勳といふ所でございますね』。最後に今一人殊勳者を申し上げますと、それは無線電信局長足達文吾氏で、氏は平生沈默寡言の人ですが、危機に際し少しも騷がずSOSといふ萬國信號(救助を乞ふ)を、アンサーの

△來る迄打つ て後徐ろに器室を出られたのと、發電の源たる當直機關士の職務に忠實なりしはやがて私等が助けられた原因かも知れません……』(神戸特電)

猩紅熱

京城明治町六十九番地松本保茂(一〇)は二十九日發熱三日午前檢診の結果猩紅熱と判明したり同人は鍾路小學校尋常科三年生なるより同校も大消毒を斷行したり

西大門外の小火

三日午前十時五十分頃京城西大門外松月洞百二十番地煙草小賣商金昌俊方より出火したるより各詰所の常備消防隊出動同家を半燒したるのみにて十一時二十分鎭火せり原因は家人の外出中同家の七歳なる幼兒が火鉢の火を弄びたるものより發したるものなり

長襦袢で賭博

岡山縣淺口郡寄島町生れの武正倉祥(三二)は昨年十一月三十日京城旭町市場某方家人の不在中侵入して同人所有の縮緬長襦袢(十五圓)を竊取して之を入質し其後龍山にて賭博をなして得たる金は彌生町藤の家に若糸の許に通ひつめて豪遊し居りたる所を元町派遣所の手に取押へられ取調べの上檢事局へ送られたり

歲暮の棄兒

一日午後九時半頃京城景三洞百二十五番地洪良鎬方の表門内に嬰兒の鳴聲聞ゆるを隣家朴春某の妻金姓女が發見し其旨良鎬方に告知したるより同家の者立出で見たるに生後四十日位を經過したる鮮人男嬰兒にして木綿の布片に包みありたりと

不思議の國墨西哥
進行中の列車の臺下に潜んで脱出した
安達公使のはなし

墨西哥は廣袤から言へば日本の五倍餘りあるが人口は其四分の一より無い氣候は熱帶圏に入つてゐるが朝鮮や支那あたりには比較も出來ない二三四千尺の高原だから頗る溫和で住心地はいゝ米作は一年四回の收穫が出來上下を擧げて日本人を大歡迎すると云ふ國だから全く前途有望の大國である然し足一度

▽山地=に入れば猛獸毒蛇横行濶歩して危險 身に迫る元來墨國は西班牙系統を享け一時は羅典文明の華麗なる花が咲き其統治は他國への模範とさへなつてゐた夫れはディアス大統領の統治した三十年の平和時代であるが五十餘歳にして大統領に選ばれ再選々々で遂に三十年の永きに及んだが既に八十歳の頽齡に及び

▽耳聾=し文書目の如き光も無しもなくなつた所へ著々失政を重ねて米國の後援を得て叛旗を翻へしたマデロの兵が北方國境から侵入し遂に明治四十四年(一九一一年)七月墨都出奔の止むなきに至つた然しマデロ大統領の施設後宜しきを得ず興望を失し躁位の翌々年大正二年(一九一三年)二月十日墨都大亂に際してウエルタの革命軍に暗殺せられ世はウエルタ大統領のものとなつた事實は

▽小說=より奇なりと云ふ諺があるが實に墨國の形勢は全く想像に餘る有樣で其變遷の道を辿れば水滸傳か應仁亂史か佛國革命史を混淆せたものでも讀んでゐる樣な氣がする夫れ許りか更に最新文明の利器を擁してるので猶に興味が湧く予が赴任の節は丁度ウエルタ大統領統治の時(大正二年十二月墨國著)で非常な歡迎を受けた港に著くと特別の列車を備へ文武大官ズラリと出迎へる許りか

▽熱狂=的な人民道路に堵列して盛んに歡迎 の叫びを擧げ四方八方からコンフエッチ(七彩の紙の小片)を雨の如く雪の如く投付ける墨都に入りウエルタに會つた時此歡迎を感謝すると同時に人民の熱誠をも併せ謝した處が『人民の御歡迎は此方は少しも與り知らなかつたが餘程墨國人は日本人を好いてるのでせう』など冗談を言つてゐたウエルタ大統領の治世中である彼のデラバラを特使として特に日本に敬意を表せしめたのは。然し時勢は一時も停止してゐない墨國の

▽天地=又も雷鳴雷雨ち殺氣漲る 各地に革命の氣動き出したので我國からは特に軍艦出雲を派遣して在留邦人の護衛に任ずる事になつた予は出雲を訪問すべく大正三年(一九一四年)五月二十五日墨都を出發しマンザニロ港に向ひ歸途に就くと當時盛に蜂起してゐた革命軍の襲撃を避り進行中の列車の臺下に身を潜めて雨下する銃丸を避けてゐたが汽罐車にも十數發の

▽銃丸=を受けて遂に進む事が出來なくなり サユラと云ふ一小村落に閉居するの止むなきに至つた併しサユラ閉居は實際苦痛であつた豚小舍同然の陋屋に閉ぢ籠り猛烈なる南京蟲の襲撃に遭ひ何一番困つたのは食物であつた遂に其爲めに食物中毒で肝臓病を發するに至つた予がマンザニロから墨都へ歸り著く事不可能で途中行方不明になつたと云ふのでマンザニロの出雲艦長森中佐は陸戰枝隊を編成し墨都在留邦人は

▽決志=隊を組織して双方から捜索に來てくれ 漸く森中佐の枝隊に發見され其護衛に依り辛くも歸還する事を得た其れは墨都出發以來二十二日目の六月十五日であつた實に森中佐は予の生命の恩人である其當時の寫眞などもあるが終生の記念物となつた

革命將軍(二)
候補生時代の蔡鍔

□將軍か都督か
常に手席を占む

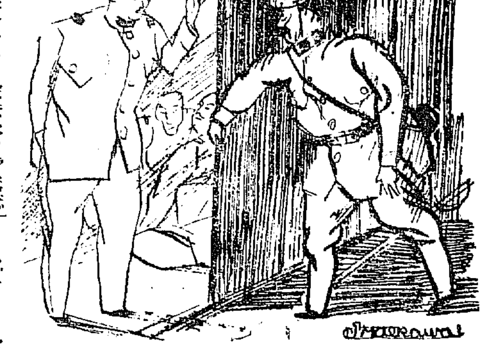
此の頃金澤の歩兵第三十一聯隊と野戰砲兵第九聯隊には八名宛の支那留學生が居つた。蔡鍔や唐繼堯等も皆な同期生であつて、四十年に成城學校を卒業し四十一年七月士官學校に入學し、蔡鍔は常に手席を占め、四十二年七月士官學校を卒へ、唐繼堯外六名は七月下旬野砲九聯隊に士官候補生として入隊したのである。此の時の聯隊長は現今休職少將の河北榮太郎氏、大隊長は三春伸三郎氏、中隊長は今少佐に昇進して羅南駐劄聯隊の大隊長をして居る大塚乾一氏であつた。『此度隊附に爲つて來た留學生の蔡鍔と云ふ男は實に堂々たるものだの。敏捷にして而も重厚だ。日本武士にもして見たい程だ。』河北聯隊長は時々斯う云つて褒めて居た。しかし留學生の總てが左樣に立派で有つたわけではなかつた。殊に滿洲人の出で清廷側から派遣された文貴、得全、那爾等の留學生は容兆こそ

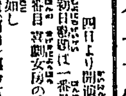
貴族の家の子弟丈けに綺麗であつた

が、其の動作には規律がなく其の成績は常に漢人の下であつた。『努力の將、眠むべき哉』とは滿人留學生が漢人留學生を侮蔑する言葉であつた。彼等は、兵營生活の間にも常に髮に香油を塗り顏に粉黛して『可愛らしきナイト』を以て自から任じて居た。洗面器も兵士と一緒のものでは穢いと、町から大きな眞鍮又は陶器の洗面盤を各自に持ち込んで來ると云ふ風で其膳部なども多く外出して贅澤を盡して居つた。彼等の國は貧弱であつても、彼等の懷は甚だ裕かであつた。彼等が理想として居るものは卒業證書である。名譽である。地位である。若くは

美しい妻である富である安逸で

ある。而して國家なるものは偶まも彼等の頭に宿つた事はない。『歸りや都督かね將軍か――』とは、彼等が唄ふ調子ッ外れのサノサ節であつた。



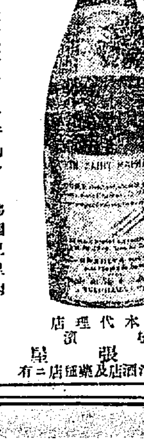


△壽座 四日より開演の本村座の初日番組は一番目女歌舞伎、二番目實録女房の笑顔役割左の如し 安達源造(河内)娘お吉(若柳)大村屋(山本)佐藤夫人富子(春日)山

△御成座 (京城朝鮮)一座四日夜の狂言は前声

初日以來連夜滿員
舊劇 中山 小夜の夜泣石
新派活劇 女記者
大正館

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金廿二萬五千貳百圓
京城南大門通一丁目
電話五五八番 振替京城一六八一番
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
一般銀行業
倉庫業
南大門支店 電話五四四番 振替一七〇二番
本町支店 電話二五八二番 振替二一九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番



佛蘭西產天然甘味葡萄酒
サンラフアエール
品質純良天然ノ甘味其他ニ比類ナク滋養ニ富メル高等飲用ニシテ日常飲用ニ好適品ナリ
殊ニ貧血性、病後、産前産後ニハ奇効アリ佛國巴里病院ニテハ年來本品ヲ常備藥酒トシテ愛用セラル
日本代理店 横濱 尾張屋
全國各洋酒店及藥店ニ有

伊國製ベルモット酒
全國到處食料品店洋酒罐詰店に有
伊太利國マルチニエロッシ會社醸造品
衛生上消化補養酒トシテ各國皇室及貴紳淑女間ニ賞讚ノ聲高キヲ見ル
胃弱貧血性ノ人ハ食前ニ其一杯宛ヲ常用愛飲セラルレバ功果立處ニ表ハルヽサ以テ名アリ
日本代理店 横濱 尾張屋

月刊雜誌 世の中
二月號
□世渡りの道……慶應義塾大學塾長 鎌田榮吉
△日本好色家列傳……青柳有美
●十大歌舞伎俳優の生活●小說と世の中の事實●國民黨の解剖●兜町蠣殼町物語●利用百種●狂人の集合所と發人の集合所●帳場禪……●家庭に於いて最も不經濟なるもの……佐々文學博士外四名家
▲文身代議士五人男 伊達住人
□世の中の表裏を知れ
▲少女殺裁判 元保列車 磯部醇
●ブレーク探偵譚●藪の中のハンケチ●結婚媒介所の裏表●當世棟梁親分番附●裸一貫から東京一の納豆屋●縣人會のぐり●美男で女嫌ひと謳はれた不思議なお醫者●名流の道樂とその珍談●世の中顧問●其他
▲寢台車(脚本一幕)……松居駿河町人
□青年と世の中 老人の世の中 社長 野依秀一
定價十八錢送料一錢半
發行所東京日比谷 實業之世界社 振替口座三四四〇

生徒募集
中央工學校
土木、建築、電氣、機械本科及各高等科
本科は二年卒業 新學期始業三月七日 四月に始業の組有
出願期 二月中 規則書郵券二錢送
東京神田中猿樂町五
校舍新築記念出版教科書無代配與
●尋常小學卒業は一期に中學三年は二期に中學卒業は三期に無試驗入學許可

釜山 ▲府協議會 釜山府に ▲穀物市場商高 釜山穀物市
天氣 曇り後晴れ 二月四日

鯨とり＝海の兒の意氣(一)

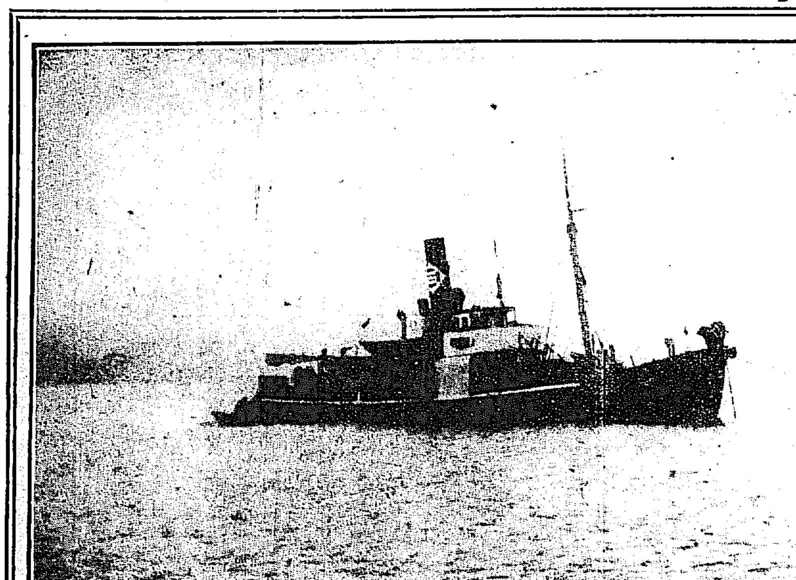
金もいらぬ命もいらぬ＝身を托す百餘噸の鋼鐵船＝秋から捕つた百卅頭＝血煙立てる海中王＝東海岸の三根據地

『鯨とろとて沖へは出るが、お金とろとて往きはせぬ……』頃日朝鮮東海岸の元山港を中心として北は成鏡南道の新浦、南は慶尚北道蔚山あたりまでは毎日壯快な捕鯨船が活動して居る捕鯨船は普通百噸内外の小型汽船ではあるが何んな時化でも平氣で出る、乘組員は又

回決して海で死ぬるものでは無いといふ堅い信念を有つて居る、若し難破した處で死といふ事は一度以上にあり得べきものでは無いと豪語するから偉い鯨は朝鮮東海岸に多く游弋する昨今試みに釜山から元山清津方面へ航海した人は誰れでも鯨の潮噴きと又其の後を追ふ隼のやうな捕鯨船を見る、時によれば漁船の直ぐ傍らに當つて黒い小山のやうな鯨の背を見る事もあるが其の他遥かに水天一碧の間に白い一條の水柱を望むことは決して珍らしい事ではない、現に昨年十月から今年一月二十日までに東海岸で捕つた數でも百三十頭に餘り今後五月一日の禁獵期までには

回どれ丈捕れるか解らぬと云ふ有様で朝鮮東岸の大富源である、捕鯨船は全部諾威式汽船一度鯨を見付けたが最後何處までも追撃して大砲の銛を擊ち込まねば己まぬといふので輕快な鋼鐵汽船型に作られて居るが速力は一時間十浬以上を馳走する『凡そ世の中に鯨捕り程壯快な漁業はありますまい』とは元氣な捕鯨船員の談しであるが如何にも長十四五間に餘る海中の王を一發の銛に擊ち止める愉快は到底他の獵には味はれない興味であらう、捕鯨船は又

回慶尚北道の蔚山と江原道の長箭と成鏡南道の新浦とに三つの根據地を有つて居る、其處で海上で擊ち取られた鯨の尻尾は汽船に設けられたウインチで舳に吊られたまゝ根據地に歸る、現在東海岸の捕鯨船は殆んど全部東洋捕鯨會社のものであるが今年は氣候の影響で金剛山下の長箭附近が一番繁昌し鯨の種類も劣等な克鯨は少く專ら長須鯨ばかり捕れるので會社の悦びは一方で無い



長箭港頭の捕鯨船＝ニコライ丸＝

高田丸沈沒

日本郵船會社所有船高田丸はニューハウンド、ランド沖にて某國汽船と衝突し沈沒せり(紐育特電)

ポプラで往生

高陽郡延禧面上岩里十一統二戸農李重熙(四二)は一日午前六時頃自宅裏手の便所脇なるポプラの木に縊死を遂げ居るを發見し所轄高陽署より警官出張檢視したるに全く覺悟の自殺と知れ死體は遺族へ引渡したり同人は多額の借財嵩み舊年末に際し之が返濟に窮したる結果遂に厭世悲觀し右の所爲に出でしものならんと

節分

△京城神社に於ては例年の如く早旦より各村社前稻生となりて祭典を執行し氏子崇敬者の息災安全を祈願し同日午前八時よりの參拜者に二千人を限り一人一包宛の福豆を無料にて授與すべく殊に當日は舊曆元日に相當すれば參拜者定めて多く境内雜沓を極むならんと△旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては午後七時より節分、執行星祭御札の分與並びに豆まき及び法樂祈禱あり終て例年の通りぜんざいの供養あり同十二時より新町稻荷堂にて通夜誦經あり△新町高野山に於ては午後一時より節分祭祈禱を執行し當年厄年の人は年齡と姓名を記して四日午前中迄に申込めば息災の祈禱守を授與するよし因みに當日參拜者一般に福豆と厄除守を授くる筈當日は恰も舊曆正月元日と節分と同日なれば參拜者も多からん△仁川大神宮にては例年の通り節分祭を行ひ當年厄年の厄除開運の祈念をなし災難除の御守を授與すべしと

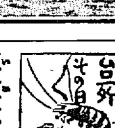
石油を盜む

京城府廉浦九十九番地安永文(三六)は二月一日午前五時頃廉浦十七番地梁聖烈方に忍入り石油一罐(價六圓)を窃取し兩三日前桃花洞附近を徘徊中龍山元町憲兵所員の手に取押へられたり

天南氏の受賞

昨年京都桃山に於て開催せられたる御大典紀念博覽會に同氏より出品したる長サ六尺巾四尺絹本の紅楓小禽(日本畫)に對して今回同會理事より有功一等金牌入賞の旨通知を享け尚ほ又同年岐阜市主催共進會に出品したる紙本半折の竹石圖及び花鳥圖に付ては三等銅牌に入賞し京城府より其賞狀を傳達せられたり賞牌は二月初旬傳達せらるゝ筈なりと

台所 その日その日



△ばかむきみ酢の物 ばかのむきみをよく洗ひ軟かい所とかたい所との別れ目を二つに切り放ち更にそれを開き切りにしかたい頭の方は鍋に入れ火にかけ掻き混ぜてるさ茹だりますこれを笊にあけ後の汁へ同じく舌のやはらかい部分を加へ一寸かきまはし笊にあけ冷まして置きます、頭部のふは／＼した部分を切り取りかたい所を二つに開いて舌と一緒に酢洗ひをします次にうどをきれいに皮を剝き亂切にし水につけ二三回水をとり替へ水を切つて鹽を振りかけ二十分程して洗つて今度は酢の中に十分程浸けばかと一緒にして甘酢をかけて出します、甘酢は味淋を一勺をよく煮立たせ丼にあけ冷めてから酢を一勺だつぷりと醬油茶匙一杯とを加へたものです殘りのばかのふわ／＼した所は一寸蛮柄けてもよいし味噌汁の種にしても結構です

商況

東京債券現物特電

三日川米値段(前日との比較)

東洋拓殖	七一、五〇	
日韓瓦斯		
朝鮮銀行	一五九、〇〇	
朝鮮瓦斯	一一八、〇〇	
南滿鐵道	一四九、五〇	

東京公債直取引特電

三日川米値段(前日との比較)

五分特別		
五分利		
一回四分		
二回四分		
甲五分	八四、八〇	

深川在米特電

三日現在高	
朝鮮米	一八六、〇二〇
臺灣米	九四、五一九
内地米	二三三、〇五三

東京期米特電

三日前場二月限	
高値	一三、三八
安値	一三、四六
寄付	一三、三五
止め	一三、四二

大阪株式特電

種類	拂込	前日後場止値	三日前場
宇治川水	五〇		
神戸電鐵	五〇		充、〇
京阪電鐵	五〇		
和歌山紡	三五		吾、〇
合同紡績	三〇		
鐘淵紡績	五〇		一商、吾
同上新株	三五		一商、吾
東洋紡績	三五		
大阪商船	五〇		一〇三、〇
日本郵船	五〇		
大阪米穀	五〇		
東京新株	三五		
大阪株式	五〇		

大阪三品特電

三日前場

一月限	一二四、六〇	一二四、三〇
二月限	一二五、五〇	一二五、一〇
三月限	一二六、三〇	一二六、〇〇
四月限	一二七、二〇	一二六、九〇
五月限	一二七、九〇	一二七、二〇
六月限	一二八、五〇	一二八、四〇

大阪期米特電

下關期米特電

△三日前場

當限寄付	一三、九二
中限寄付	一三、七五
先限寄付	一三、九五

止め

雜報

善後策協議中

一月限殘り一萬三千六百五十石受渡しの當否は三日より之を行ふ方針に善後策協議中

揮發機械油昂騰

機械油は前報外内油は遂に五十錢高を實行

日石の兩品は五十錢

揮發油も之と同時に寶田、日石の兩品は五十錢高を發表せり

尚石油

朝鮮皮革對移出

牛皮氣迷ひ

日和見の姿

此處互に鼻息

筋と間に原皮賣買の商談中

砂糖は一息

反抗的買煽

十錢方下落

高値は三四

市場不味

目先猶一押

行賀仲買店

米鮮は不味

仁川沖渡し百斤六圓五十錢を齎らす

下關相場

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

京城正米

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米

三日前場

十三錢安の入出

十三錢安

市場零聞

前場の大商戰

前場下放れ

錢と寄付千圓九十五

利喰

新規に買物多

中限の激戰

五千石の大商内

錢上鞘に先限三

丸り大に賣る

無慮一萬千石に上る

稍目立つ

中限戰に付き

如何に強弱腰入

深き赴を知る

再び增大

大阪十三圓臺

中先共に十三圓臺に墜落

目先小變動乎

石の大取組を存して

尚四萬五六千

兩幹部筋は見送り

中限の牽制上尻

存外高下を縮少

見越の買試

出殺し減少

買は忽ち値段

影響

高の板狹姿

大阪安に地場正米

賀收額と期米

石以上 五千五百萬

仁川米豆取引所

三日の四月限

節	寄附	止直	高直	安直	出來
一節	十一圓九十五錢				
二節	十一圓九十七錢				
三節	十一圓九十九錢				
四節	十一圓九十五錢				
五節	七萬千百五十石				

平均値段	
一節	十一圓九十七錢
二節	十一圓九十六錢
三節	十一圓九十七錢
四節	十一圓九十八錢
五節	十一圓九十八錢

賣買取組高

	値	前日比較
二月限	三千五百石	
三月限	四萬五千三百石	
四月限	一萬三千四百五十石	
出來		

一日後場	一一、〇六	一一安
前場	一一、〇七	一〇安
	一一、〇七	八安
	一一、〇一	八安

北濱だより

大株成績

大阪株式取引所の十二月一日より一月三十一日に至る出來高は總計三百三十五萬二千二百二十枚にして一日平均は七萬九千八百十五枚なるが此の手數料累計は二十一萬三千四百七十二圓五錢にして一日平均は五千八百十二圓六十七錢なりと

大正五年 國民年鑑

千頁の大冊定價五拾錢

三度の飯は二度にて可也と論ずる者あれど國民年鑑の不必要を唱ふる者の日本國民中唯一人も有らざる可し

國民年鑑目次

◉大禮記 ▲大禮前記、大禮の準備、齋田點定の儀、大禮延期、大禮使と大禮費、諸儀式御日取と大禮舉行地、期日奉告、齋田點定の儀 ▲大禮本儀、賢所移御の儀、東京、京都 ▲即位大禮、皇靈殿神殿へ奉告の儀、紫宸殿の御儀、賢所神樂の儀▲大嘗祭、御禊大祓の儀、神宮皇靈殿並に官國、幣社に勅使發遣の儀、大嘗祭前一日鎭魂の儀、賢所御饌供進の儀、皇靈殿神殿に勅使發遣の儀、神宮奉幣の儀 ▲大嘗祭本儀、悠紀殿供饌の儀、主基殿供饌の儀 ▲大禮後儀、大嘗祭後一日鎭祭の儀、大禮後大饗の儀、大禮後大饗宴第二日の儀、大禮後大饗夜宴の儀、神宮親謁の儀、神武天皇山陵親謁の儀、前帝四代の山陵親謁の儀、東京に還幸の儀、賢所温明殿に還御の儀、大禮雜記、恩赦、陞位、叙位敍勳、養老賑恤、神社升格、文部省大典奉祝唱歌、記念事業、各地方賜饌、東京市の奉祝、京都市の奉祝、大阪市の奉祝、授爵、觀兵式及觀艦式

◉一般事項 皇室、領土及土地、氣象、人口、政治、外交、軍事、財政及金融、農業、牧畜業、林業、漁業、鑛業、工業、瓦氣及瓦斯業、商業、外國貿易、交通、鐵道、海運、通信、宗教、教育、表彰、圖書館及出版物、衞生、慈善、司法警察、美術、文藝、演藝、歌舞音曲、相撲、運動遊戲、大正四年一月以降の重要事件、東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、名古屋市、北海道、朝鮮、臺灣、關東州及滿洲、樺太、在米日本人の發展、英吉利、濠洲聯邦、佛蘭西、獨逸、露西亞、墺地利洪牙利、伊太利、北米合衆國、支那、過去帳

◉現代人物一覽 日本の部、朝鮮の部、支那の部、歐米の部

◉銀行會社一覽 大正五年略曆、年曆、年齡早見表、滿年算月表

本書索引の一節

◉位置(日本)◉市場◉醫學聯合大會◉醫師◉伊太利▲土地の利用▲陸軍▲離婚率▲王室▲王室費▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲内閣▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲財政▲砂糖▲議會▲教育▲漁業▲面積▲人口▲宗教▲祝祭日▲生産及死亡◉園芸◉英吉利▲土地の利用▲領土▲陸軍▲離婚率▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲大學▲内閣▲農業▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲物價▲鑛業▲皇室▲皇室費▲鐵▲財政▲産業▲議會▲教育▲漁業▲面積▲宗教▲祝祭日▲人口▲製造業▲生産及死亡▲石炭▲船舶◉移民◉意匠登錄◉印度◉印紙稅◉飲食店

大取次所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

汽車

[illegible]

越後大評定

第百二十席 早川貞水口演

小栗美作の狼狽

是に於て美作は 美『左樣な事は一向存せず、成程比留間、正木の兩名は予が屋敷へ確かに居るに相違なし、然れども其方の舍弟を手に掛けしなどゝは一言も申さず、又この美作も存せぬ事なるが、併し願ひの趣は道理と心得るに依り、今御參詣を致したる上、直ぐさま引返して兩名を此處に差遣はすに依り、思ふ存分に仇討を致して宜からう 九『早速の御承知千萬忝けなし、然らば此處にて差控へ居りますれば、宜しく御取計を願ひたい、御參詣の途中、御妨げ申し、恐れ入りまして御坐る』と、神妙に大小を取つて傍へ退きましたから、美作それより長勝寺へ御參拜を遂げ、直に御屋敷へ歸ると、比留間正木の兩名を呼出し 美『さて御身等兩名、一大事出來いたした 與『何事で御坐るか 美『渡邊九十郎が江戸表より當高田へ參り、其方兩名が舍弟兩名の仇なるを以て、仇討いたしたいから、引渡してくれとのことである、之を予が拒む時は、渡邊一家二十三軒、打揃うて當屋敷へ乘込み、其方等兩名を取つて押へると申す、其やうな事に相成つては、第一御上へ對して恐れ多く、又世間體も惡しきことなれば、其方兩名、最早遁れぬ事と諦め、支度に及び、長勝寺の松原に待受けたる九十郎と尋常の勝負いたすが宜しい、尤も當家の足輕三十人を附け遣はす、危き時は、其足輕が助太刀いたすに依り心丈夫に九十郎を打取つて了へ、又敵討は天下の禁制であるに依り後のことは此方が宜きに計らひ遣はす』二人が驚いたのは、渡邊九十郎と來ては、江戸園かけて聞えたる武藝の達人、迚も及ぶものでない、けれども御當家の足輕三十人を附け下さると云ふのを力に 與『是非に及ばぬことで御坐る』兩人は身に覺えあることで御坐いますから仕方がない 與『然らば御足輕三十人は宜しく御願ひ申します』是で美作より足輕へ御沙汰がありましたから、足輕同士は 甲『尊公どう云ふ譯になるのだ 乙『何しろ大變なことで、江戸から渡邊九十郎殿が御入來になつて、仇討をなさると云ふ 甲『吾々仇討の助太刀は出來ないよ 乙『けれども比留間、正木の兩名を守護しろと仰つしやるのだ 甲『ハア面倒臭いことで御坐る、マア餘り近寄らぬ方が宜しい、比留間、正木の兩人は仇を持つ身の上だから、死んでも仕方がない、又打つ方は討つ理合があつて御討ちなさるのだ、それを兎や斯う吾々が妨げては、あの劍術の達人の渡邊樣に諸口才千萬と斬り込まれては、足輕の三十人や四十人は、一と討に薙ぎ倒される、何しろ君子は危きに近寄らずだ 丙『イヤそれが宜しい』愈よ比留間、正木の兩名支度に及び、足輕に送られ長勝寺の松原へ行つて來ると、袴の股立を取り襷を懸け、鉢巻を致し身構へに及んで渡邊九十郎は 九『ヤア／＼珍らしや比留間、正木の兩名、我舍弟九三郎、左門の兩人は、汝等の手に掛つたも同然なり、三河守樣より仇討御免の御書面を頂戴いたし、今この所に於て、汝等兩名を斬つて捨て、舍弟の無念を晴すに依り、左樣覺悟いたせ 與『何を小癪な敵呼はりは奇怪千萬なり、汝の舍弟は豫て三河守の壽命に依り討つたに相違ない、然るにそれを爾なぞとは以ての外なり 九『如何に壽命なりとも、汝等眞實の武士ならば、御諫め申て之を止めるが當然なり、然るに汝等元來御殿を不行跡に仕込たる惡人なれば、諫言を爲さゞるも怪しむに足らず、其故に舍弟の最期も、汝等より出でたる事なりと申すのぢや不埒千萬覺悟に及べ』

泌尿器病 專問
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病
入院隨意（診療夜九時迄）
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話四一九一番

二月五日九星
舊正月二日壬申
本命六白 乾 破 友引

▲六白● 味方の仇となる事有り注意 [illegible]

演藝案内

◎懸賞和歌俳句とホーカー液 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番
二月一日より晴新大寫眞提供 ○實寫 歐洲戰爭畫報 ○西洋奇聞大活劇 君命 全三卷 ○冒險大活劇 女記者（空中の美人）[illegible]

壽座 本町 電話五七八
四日より新派劇 角藤派木村清憲一行
一番目 悲劇 友 全
二番目 喜劇 女房の笑顔
安達源造（河内）娘お君（若柳）大村猛（山本）佐藤信市（春山）大村義臣（黄田）愛妾お花（女優日出子）令孃文子（小川）佐藤夫人（春日）山田誠一（木村）

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七
△奈西人情劇 罪の影 全三卷 △新派活悲劇 素顏の運子 全三卷 [illegible]

佐久良座 新龍山
新派 自然劇 團三輪貧一行 第十一回目替藝題
一番目 日本 捨子 三幕 三場 [illegible]

壽館 本町 電話一〇五〇
廣江 浪愛 嫌家の [illegible]
十九日目演題
武士道の琴（文右衛門）義烈百傑（燕若）加賀騒動（香右衛門）秋山渡英（むら雲）義士傳（北海入道）女武士道（山本松子）伊達振子（長講一席）燕左衛門

御成座 御成町 電話二一九一
二月三日替狂言（四日目）
前狂言 芦屋道滿大内鑑
切狂言 扇屋熊谷
阿部保名（市川海老松）葛の葉（中村桂子）[illegible]

最も信用ある 安全な帶下の療法

▼病氣に罹る

といふ事は勿論不幸ですが、現在病氣に罹つて居乍ら毫も夫に氣付かぬといふ事は、より大きい不幸では御座いますまいか、世の御婦人の中にはさういふ方が随分とゐらつしやる例へば足腰の冷えるのは子宮に故障があるからで立派な病的徴候ですが一般の婦人は『女の先天的持病』かの樣に思つて居られるし更に甚しきは

▼子宮内膜炎

即ち俗にこしけといふ病に就ても亦同樣の考へを有つて居られることで相當に衛生思想のある御婦人ですらこしけは誰にもある女の役位にしか思つて居られぬ樣です、ところが一般の御婦人から、斯く輕く視られて居る此のこしけこそ、種々ある婦人病の中で一番恐ろしく、そして一番危險な病症なので御座います然らば

▼帶下の症候

は奈何かといふに、急性と慢性とに依つて、多少相違はありますが、最初は惡寒がして後に乾度熱を發し、肩部痛み、内股腰の邊が疼り、痛み、往々産の時の樣な烈しい痛みを覺えるも勿論子宮も痛みますが、下腹が壓付けられる樣に痛く、小水頻繁になり

▼同時に下物

があります、これがこしけで永く續いて下りる事もあるが大概斷續的で殊に月經時に下りる事が多い爲め、一般の人が月經と同一視して居られるのも無理はありませぬが若し其の物が最初稀薄なものが段々濃厚になるか或は卵白の樣に、又は黄色い粘液となり何ともいへぬ氣持惡い臭を發します斯う症狀を述べますれば、御婦人は

▼乾度思當る

事がおありでせう、普通子宮病とか婦人病とかいふ病は大抵此のこしけで御座います、そして油斷して手當を怠ると病勢次第に進むで食慾衰へ、貧血を起し、それが爲め手足や腰が冷える、頭痛がする、動悸が高ぶる、精神は憂鬱になる、身體は衰弱する、斯くて遂には一命を失ふ樣な危險な場合に立至ることが往々あります、假令それ程に至られぬまでも

▼不姙の原因

となります、何故かといふに醫學上から調べると、こしけは強い酸性を帶びて居て、姙娠に必要な男子の精液即ち子胤を殺すからです、右の樣な次第でこしけある婦人は姙娠せずし、又しても流産するか早産するか、何れにしても子を得る望みなく、屹度一生涯も光明もない冷たい家庭に不幸な生涯を送らねばならぬ、次にこしけの原因としては

▼冷込が危険

で、時期から申せば冬、殊に目下の寒から寒明へかけての時候で御座います、其の他不熟練な醫師に子宮を診て貰つた時機械の使用法の下手な爲めに起す事もあり、又御産をした後乳を飲ませぬ爲め、或は貧血、衰弱、月經時の不養生、淋毒を受けた場合等も主要な原因ですから、之等の點には充分注意せねばなりませむ

▼手近い療法

はなるべく身神を安靜にする樣に努め、食物は刺戟性の物、例へば酸い物や辛い物、それに酒類は絶對に避け、熱がある時は粥、牛乳、スープ等を、熱が除れたら豆腐や魚肉など兎角消化れ易く、そして脂肪の少なくて滋養分に富むだ物を採る事、最後に

▼是非共服藥

なさる事が肝要ですが、近來婦人病の藥は隨分と數多く、數多い丈如何程しい物も少くありませむから、除程選擇に注意なさらぬと却つて危險、信用と効驗とを標準にして御撰びになるとすれば決して御迷ひなさる必要はありませぬ、今日では何といつても中將湯が一番で、一般世間の信用の厚い事は勿論現今吾國で有名な數十名の婦人科から名譽の賞讃を頂いた程效驗確實な良藥です、尙こしけの方は此の他に宮壯散で常に膣内を洗滌し夜分御寢みの時子宮坐藥中將球を挿入れて置けば、一層効驗迅速で何な難症でも癒ります、本舖は東京日本橋通四、津村順天堂本店と大阪堺筋大寶寺町津村順天堂支店で世界到處の藥店に有升本舖に症狀に應じた加減藥も有升から御容體詳しく御申越し下さい。

ホーカー液廣告詠込の懸賞 和歌 俳句 募集

問題 は極簡短です。要するに新派たると舊派たるとを問はず、總てホーカー液廣告詠込の俳句和歌たればよし。

但し 「ホーカー液は『現代』が生んだ理想的の家庭美容化粧料ですしかも日本にたつた一つしかない國産化粧液として、都會は申すに及ばず今や全國到る處貴婦人令孃奥樣方を始めとして紳士間にも湧くが如き好評を以て熱愛され從つて如何に本品が他の化粧液に優つてゐるかと云ふ事に就ては世間既に定評ある事ですが今假にこの純良なホーカー化粧液が實際に持つて生れた効能の二三を列記いたしますと、」

ホーカー液は色を雪の樣に白く、キメを細かに羽二重の肌の如くに麗はしくし、冬の木枯風にも肌荒がせず……白粉のノリ、ノビが思ひの儘に白粉のトキ水によく紳士の鬚剃後、洗面後等に用ゐて頗る快感を與へ……其他子供衆の皮膚を丈夫にし、美人、美男子を造る天下唯一の品です。

東京で一番よく賣れる化粧料 ホーカー液!!!

應募の俳句と和歌は切實にホーカー液の効能を詠み込んだものか、でなければ成るべく賓威的な句を歡迎いたします。

賞品
一等 三越五圓切手 一枚づゝ 五人
二等 同 三圓切手 十人
三等 ホーカー液大瓶 三十人
四等 同 小瓶 五十人
五等 ホーカースキート 定價十四錢 百人
右は和歌、俳句共各等呈上

應募規定
▼用紙はハガキ一枚一句宛の事
▼この新聞名を記す事
▼宛名は『東京神田和泉橋、堀越嘉太郎商店廣告部』
▼ハガキの表面には『應募和歌』又は『俳句』と朱書する事
▼〆切は大正五年二月十日
▼發表は三月以後各新聞紙上
▼選者堀越商店廣告部

冬とホーカー液
朝 お洗面をお使ひになつた後で、たゞ二滴を掌に落して兩手で顔から襟足、首へかけてよくお擦り下さい されば冬の風にも肌荒れ等のする心配は少しもありません
入浴後 にも同じくホーカー液をお使ひになる事を忘れない樣にして下さいやがて然うする事が所謂ヌケのする順序となるのです。紫顔美を發揮させるには最も理想に叶つた方法です。さて
化粧 をする時には、必ずホーカー液を白粉下にお用ひ下さい、トキ水にしてお使ひ下さつても何れにしても白粉の斑が出來ず、極自然の白さに洗き、ほんとうにお化粧の仕榮えがいたします。
男子方の髯剃後 にお用ひ下されば剃刀マケを防ぎます。

光榮 大正四年十二月十五日ホーカー液は復又宮内省御買上の光榮を得す。

ホーカー液 ホーカー美髮液 ホーカー白粉 ホーカースキート
本舖 堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋

完全なる金側代用時計販賣 本品は時計製造の本場たる瑞西國製にて新規輸入の完全なる金側時計代用紳士用に最も適したる品 [illegible] 見本賣弘めの爲め百個限り特價 五圓五十錢 景品 [illegible] 大阪松屋町 合資會社 日野時計店 振替大阪壹二六一九番

茶代廢止 店料なし 東京市芝區愛宕町二丁目 電話芝一八六五番 旅館 月見館 閑靜清潔交通便利

ひぜん水 大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 振替大阪二八一八番 各藥店に販賣す

製作品販賣廣告
▲官紗、倭紗、明紬、三八紬、外絹織物各種
▲木綿布團地、白木綿色木綿、外木綿織類各種
右卽賣開始す 大正五年一月二十九日 恩賜授産 慶尙北道機業所

衛生的 純粹 培養 牛乳 ヨーグルト 場主獸醫學士 京城黃金町四丁目 東亞牧場 （電話二五二番）

寫眞器械 材料及藥品 直輸入 コロタイプ印刷 大連市大山通 光明洋行寫眞部改め 佐野洋行

優等清酒 鶴 京城本町三丁目 電話六百四番 本莊酒店

第三版

京城日報

四日朝刊 (第三千二十號)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵税共 三ヶ月 … 廣告料 五號活字一行金七拾錢 … 發行編輯人 … 印刷人 … 發行所 合資會社京城日報社 太平通一丁目 電話 編輯局 … 營業部 … 振替貯金口座 京城三〇〇番

總督の諭告と吾人の覺悟

二八 經濟界の發展

新政施行以來茲に五年有半、之れを日に數ふれば敢て短しとせざるも、國家經綸の時期より見れば唯其初期に過ぎず、然るに利川厚生の施設は既に斯の如く遺漏なきを得、政務の機關亦夙に整備して以て、鮮内一般の經濟界に異常の進展發達を促し、財政の基礎をして愈堅實ならしめたり今之れを統計に徴するに、經濟界に在りては貿易の如き併合前年に於ては總額五千九百二十七萬餘圓に止まり、而かも一千四百三萬餘圓の輸移入超過を算したりしが、爾來年々膨脹に連れて又漸次出入の權衡を回復し、大正四年中に於ては貿易總額一億二十一萬餘圓に達せる而已ならず遂に百廿四萬餘圓の輸移出超過を示して全然從來の趨勢を一變するに至れり、是れ貿易の發達中に於て既に詳述せし所なるを以て茲には省略し、更に金融狀況に付き一言せんに明治四十三年末に於ける通貨の流通高は二千八百三十萬六千餘圓なりしもの、大正四年末には三千七百十七萬九千餘圓となり、殊に銀行券發行高の如きは貨幣制度の統一と共に其績を擧げ滿洲地方への流通額亦激增せる等と相俟ち、一千七百二十七萬三千餘圓より三千四十六萬二千餘圓の激增を見、大正三年末に比するも尚ほ一千二百五十餘萬圓の膨脹を來せり、而して併合當年末に於ける金融機關は各種銀行本店數十一支店數五十九なりしもの、昨年末に於ては本店十八、支店八十四の多きに達し、地方金融組合亦百十七に過ぎざりしもの今や二百四十を算するの盛況を呈し、其預金總額一千八百八十四萬五千餘圓より、三千二百六十四萬六千圓に、貸出總額四千四百二十一萬五千圓より五千四百十三萬六千圓に激增せり、

二九 財政の獨立

經濟界の膨脹は亦自ら財政の發達を促進し、加ふるに當局の運用其宜しきを得たるが故に、當初甚だ薄弱なりし財政の基礎は比年其根底を固め來れるのみならず今や獨立計畫に向つて着々實行の歩を進めつゝあり、即ち明治四十四年度に於ては歳出入豫算總額四千八百七十四萬餘圓にして、經常部の如きも二千四百六萬七千餘圓の歳入に對し二千七百八十九萬一千餘圓の歳出を計へ、三百八十二萬三千餘圓の不足を見るの止むを得ざる狀態なりしも、大正五年度豫算案に於ては歳入出總豫算額五千九百五十四萬九千餘圓にして其に一千餘萬圓の膨脹を示せるのみならず、經常部の歳入は四千百五十六萬餘圓を算し、同歳出三千七百萬三千餘圓に比すれば優に三百五十三萬餘圓の餘裕を生じ之を臨時費の財源に充當するに到れるに徴せば朝鮮の財政が僅々五年間に於いて如何に面目を一新せるかを推知するに難からざる可し

斯くて經常歳入の增加は年々母國の補給金を遞減し、朝鮮總督府特別會計設立の目的なる財政の獨立は大正三年度以降着々實行の歩を進め、今後の三年を出でざらむとす、誰れか異數の發達ならずとせんや

戰爭の影響

在東京 一記者

▲歐洲大戰役は、開戰後一箇年にして終了すべしと爲し、一箇年半にて其局を結ぶべしと爲すものありたれども今や既に十九箇月を經過して猶ほ平和回復の端緒だも見出す能はず、或は此冬期を以て媾和の時期に入るべしと說くものあれども、如何にして和を講ずるの途を開くべきか天下未だ其事に當るものあらず、且つ英吉利は今夏の戰鬪の爲めに、兵員武器の準備に忙はしく、獨逸は埃及遠征の經營に是れ急なり、乃ち大體に於て戰爭は永く持續すべき模樣あり、從て其の交戰者の痛苦を重ぬるを益々甚だしきや論なく、中立者に及ぼす影響も亦益々大なるものなかるべからず。

▲我大日本帝國は、交戰國の一たるや論なし、然れども我と獨逸との戰鬪は一昨年十一月を以て終結し、爾來殆ど鐵火の事に從はず、是れ我は交戰者なりと云ふも、一面には戰後の觀あり、他の一面には中立國たるの觀ある所以にして、最近に於ける我帝國本土の經濟界の情勢は、則ち戰後の體貌と中立國の狀態とを兼ねたるものと見るを得べきなり。

▲此度の大戰役は、所謂世界的大戰にて、歐羅巴の大國は悉く交戰者たるものは、獨り北米合衆國のみなり、世界の大國にして局外中立なりと云ふべく、言ひ換ふれば此度の戰役に際し、純乎たる中立國の經驗を得るものは米國に外ならず、是れ今日政治家及び經濟學者が大なる興味を以て米國の狀況を研究するに力むる所以なり、米國人は歐羅巴諸國に軍需品を供給して鉅利を博しつゝあるは、何人も皆知るところなれども、其獨墺兩國との貿易が全く杜絕したるは大なる損失たるを疑はず、且つ英吉利政府は、獨逸を苦むる爲めに戰時禁制品目を擴張し、公海航行の自由を禁遏し、擧證の責を被告に負はしめ、捕獲審檢所の審判法を改めて、若し被審檢者の答辯不充分なるときは、直ちに船舶貨物を沒收する等、其の處置頗る極端なるに對し、獨逸は此の公海封鎖に對する報復手段なりと稱して、潜航艇を放ちて商船を擊沈せしむる爲め、航海業の危險言ふに勝へず、是れ米國と獨逸及び英吉利との間に、交涉談判斷えざる所以にして、米國人をして云はしむれば、獨逸の行爲の無法なるは言ふまでもなく、英國の政策も、亦國際法及び倫敦宣言に違犯せるものありと爲す、蓋し理非曲直は自ら明白ならずと雖も、今日國家の存亡を賭して、必死の爭を爲すの間に於て、此種の問題の解決を見るは、恐らく難かるべく、平和恢復の後に至りて、初めて國際の條規を一定するの外あるべからず。

▲尤も米國は獨墺諸國との交通貿易杜絕したる爲めに、相當の損失あるべしと雖も、其の代りに獨墺の輸出貿易を奪うて、自ら利する所多きを得たるや論なく、北歐諸國への輸出の異常の增加を見るは、則ち主として獨逸に取りて代はれるものなり、且ダーダネルス海峽の敵手に在る間は、露國の農產物を佛蘭西伊太利諸國に供給する能はずして、之に代りて是等諸國に穀物其他を供給するものは、則ち米國たるも穀價甚だ高く、且其實行の甚だ著きは、主として歐羅巴諸農業地よりの輸出の途斷絕せるが爲めなりと云ふ、蓋し米國民の多數は歐洲大戰役の長引くを利とするものなるべし、獨り米國のみと云はむや、其他にも平和回復の速かなることを望まざるもの多きや論なきなり。

□日和見の龍濟光

南支那の局面を支配する者なりと稱せらるゝ廣東將軍龍濟光は曩に一等公爵を授けられし時商級軍人社會に於ける冷笑の標的たりしが此度更に一月二十八日附を以て郡王の爵を加へらるに及び中外の人士均しく重大なる秘密の伏在するを疑ふに至れり龍濟光は雲南出身にして郷里に家族財產を有し現に獨立軍の威嚇を受けつゝあるのみならず袁總統の正面の對手なる岑春煊は北〓で兩廣總督たりし當時龍を行伍の間より引立てし恩誼あり、これ等の事情はさらでだに疑心深き北京政府をして龍に危惧の念を抱かしむるに充分なるが最近には北京政府と龍との間に雲南征討に關する交涉あり政府は龍の派遣に關し代理廣東を見にして龍觀の巡按使たりし龍觀光をして二十營の混成隊を組織し廣西方面より雲南を侵さしめん事を希望せしも龍は遂に之を拒み結局廣東は公然觀望の態度を取り岩龍の暫聯入たる岑春煊にして時局の表面に現はれんか廣東の形勢愈々危險となるべき事北京政府の明かに知悉する所なれば、これ袁總統が惠州の革命亂を口實として廣東の禦衛を與へ極力之れを懷柔せんと試むる所以なり即ち今次の授爵は北京と廣東との關係が益々險惡に赴きつゝある反證なりと云ふを得べし

大阪より

▲猪鹿尙二千頭 去る十六日より十四日間開催の雲ケ畑御獵は二十九日を以て終了し合計百二十六頭の猪鹿を射止めます/\日本一の御獵場たる名を確實にするに至りたるが本年の御獵參加者は多摩獵將軍を初め主獵官見廻勢子に至るまで昨年に比し極めて尠く加ふるに本年の獵期中は初日の十六日より十七日にかけて降雪ありたるのみにてそれ以後は一回の雪もなく山口の雪も自然消え果てゝ跡なかりしより一度退出したる猪鹿は容易に再び山を登るに困難にて下方若しくは横に至りて獵官見廻の待場に懸るもの少なかりしため其勢子が[illegible]に引返して途中より山に引返し巧みに銃先を免れしもの多かりし由なれば本年も昨年同樣の人員を要さへあらば優に百七八十頭は屠り得たりといふ而も御獵期巧みに逃げうせたる猪鹿は至る所の山口に出沒しつゝあり現に日沒後ともなれば御獵谷附近にかけて獵道大岩附近より梅谷、男ケ谷附近にかけ木の根岩頂を掘り返しに出現して方面に數ケ畑、山野郷、黄船郷の獵地全體に渡り猪鹿の數は尙二千を下らざる見込なりと

▲事業勃興機運 近時經濟界は一般に事業勃興の新機運を釀らし石油界、電鐵界、織工界等所在方面に向つて新事業の計畫を立て早きは既に着手し然らざるものは今や默々の間に計畫の成熟を待ち此の新機運を誘致する觀あり從來は戒めに警戒を加へて容易に資金の支出をなさざりしものなかりしが目下各方面に亙りて此等の觀念を一掃し去りたるの傾向あるを以て戰亂よりして續出する新注文と共に遂に今日以上の新事業の現出すべきは容れざる所なり

▲パルプ昂騰原因 製紙原料たるパルプの昂騰は其主たる生產國たる瑞典に於て歐洲戰亂の影響を被り從來英國より輸入せし石炭の缺乏騰貴となりて石炭の缺乏騰貴せる爲めパルプ製產の加工藥品たる曹達及び硫化を獨逸より仰ぎしに是れ亦た輸入困難となり騰貴せるに加へ船腹の缺乏及英國間爲替相場不利となりしはパルプの減切り昂騰を呈せし起因なりしに瑞典の英國に對し輸出禁止を發表せしに依り益々暴騰を呈せし次第なり(京城支局)

裏の港へ

金谷眞

永興灣を縦斷して

元山到着の翌日午前十時、松田君等の小汽船永興丸に乘つて元山灣を縦斷し十一浬彼方の永興防備隊を訪問する、折柄[illegible]日の事とて勇ましい水兵達の中の多くは元山に出掛けて居たが松井主計長の親切なる案内と趣味多き說明により其の防備地の生活を聞き得たのは愉快であつた此の途は又牡蠣の產地[illegible]にも一面の牡蠣殼にて石塊一つ諸ひあぐれば[illegible]に充分の御馳走が得られるといふ午後三時永興丸は再び龍興江河口の五里浦より引返し來る[illegible]

元山市を眺めて

元山に見る度毎に變りつゝある市街の背後の山腹に、殊に風光絶佳の家が增すのも新しく思はれる、又市街には將來の大元山を作るべき十間幅の道路が開かれ海岸には又大正五年度の工費四十萬圓を費して着々工事を急ぎつゝある築港工事が賑はしく山の手からは牛車や人夫に運ばれる土砂のトロックが幾つも/\海岸に向つて驅る、明太魚も二三年來不漁のものが今年一月に入つて始めて豐漁で鮮魚のさく京城方面に輸送される、漸く漁れ出した[illegible]元山の集散地たりし元山の[illegible]が多くなつた、其他鐵道の開通以來陸路輸出の元山に集るものが多くなり大正四年中は五萬七千五百七十四石の米に八萬四千七百九十五石の大豆が元山驛に降された、生牛輸出は陸路から輸出されるものは國境方面へ仕向けらるるもの郵々と尠くない、又數賀、大和田氏の計畫した生牛內地移入は不幸にして失敗に歸したけれ共本海横斷航路も近く實現したいとは元山のみならず裏日本朝鮮間全體の希望であらう(二月一日)

此稿故障延着して前號の分と前後す

日報歌壇

□我棲れる大地を行く 京城 のぼる

いみ白く只一筋に道光る灰色の風横さまに吹く野

ガタ馬車の上はさむしろ我影は凍れる道にほのかにも引く

路上の氷ントト踏めばいたくひとりをかしく思ひくりかへし見る

馬は只默しとわしる三人の車上の人も默しとすはる

行人よそたたもいたく下を見る多の大地の心を知るや

□南向きの作業室

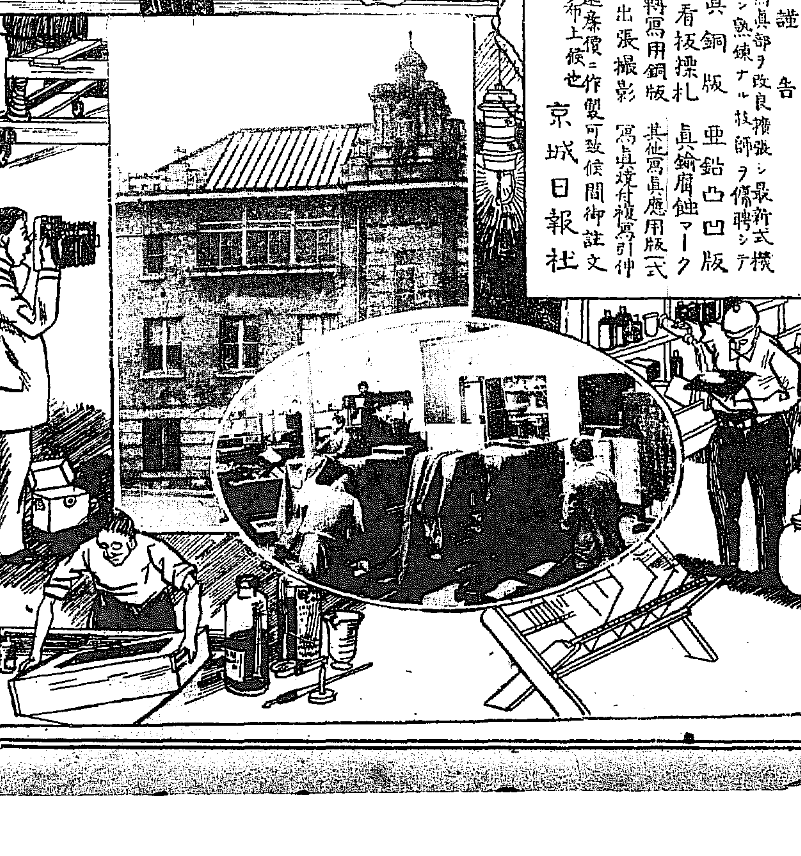
目路遠き道のはてより來る寂しき世界獵人の只獨り

埋立地の空家の如き心もて力たき體を椅子に投出す

ストーヴの湯のたぎる音かすかにも聞ゆる如し聞えざる如し

倦みはてゝあふむけざまに天井見るさみしや長きストーブの煙突

投げ出せし手の指先に輕くつきし机の塵悲しまれけり



再版 改訂增補 朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵稅拾錢

本書中不動產登記の部には土地調查に關聯ぜるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑記書式等併て百貳拾餘件並に印鑑届、印鑑證明願、改印届、土地變更事項に關する證明申請(京城府所定)委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは舉て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 振替京城三〇〇 京城大平通 京城日報社

營 木材業者諸君 木材需用者諸君 ニ告ク

一、營林廠ハ相互ノ利益ノ爲朝鮮ニ於ケル製材品種ノ減少ヲ期シ二月一日ヨリ廠材ノ規定寸法ヲ左ノ如ク限定シ其ノ寸法以外ノ注文ニ對シテハ一割高ニ販賣スルコトトセリ

挽材 五寸角、四寸五分角、四寸角、三寸五分角、三寸角、二寸五分角、四寸ニ二寸角、四寸ニ一寸角、三寸五分ニ一寸七分角

小割材 一寸角、一寸二分角、一寸四分角、一寸七分角、二寸角、三寸四分ニ五分角、三寸五分ニ六分角、三寸八分ニ七分角

板材 二分五厘、三分、四分、六分、七分、八分、寸、寸二分

木摺 普通幅一寸五分厚三分

一、東洋ノ木材界ハ概シテ一割以上ノ高騰ヲ示セルモ營林廠ノ製材ハ前項ノ改正ヲ斷行セル爲僅ニ五分ノ値上ニ止ムルヲ得タリ改正單價表ハ取越次第送付ス故ニ建築其ノ他木材ヲ使用スル設計ニハ成ルヘク此ノ寸法ニ依ラルルヲ望ム

一、營林廠ハ相互ノ利益ノ爲大口取引者ニハ最大限二割マテノ價格低減ヲ行フコトト爲セルヲ以テ小口購入者ハ直接當廠ニ注文スルヨリモ大口取引者ヨリ購入セラルル方利便多シ既契約ノ大口取引者ハ左ノ如シ

大阪清水榮次郎(朝鮮總代理店三井物產株式會社京城支店)

平安北道新義州木材株式會社

木材價格低減ニ關スル內規ハ申越次第送付ス

一、營林廠材ノ品質比較的優良ニシテ仕譯ノ確實ナルコトニ就テハ世間既ニ定評アルノミナラス廠材ノ鐵道運搬ニ就テハ特別ノ割引アルヲ以テ廠材ヲ購入スル者ニハ單價以外ノ利德アリ

大正五年二月一日

朝鮮新義州

朝鮮總督府營林廠

仁川米豆取引所

(一日)…寄付十二圓九十二錢止め九十錢△

▲後場動かず 大阪の氣配を報せざるより十圓九十[illegible]八錢△…二百石賣…に六錢を押したるも…今北鮮…十萬石と五千五百三十萬石とあり何れに五千五百萬石以上ならんも昨今所報の如く最早人氣の上には大した影響なきものゝ如し

▲大豆 …一圓四十一圓出來高三百石△

…一向行はれず京城正米

掲示 高値 十一圓丁度 安値 十圓九十六錢

出來高 六千二百五十石

四月限 九千三百五十石 三月限 四萬五千九百石

…車收入 …到着貨物四千五百四十五噸 貨車收入一萬七千三百六十六圓十二錢 客貨車收入合計二萬七百三十二圓なり

…して納入したるものなり

法王特使親書捧呈 詳報
優渥なる御意を宣はせ給ふ

既電の如く二日入京したる羅馬法王特使ペトレリー大僧正は法王より我天皇陛下に對し御大禮奉祝の親書を捧呈の爲三日午前十一時五十分宮内省より差し廻しの儀裝馬車にて近衛儀仗兵半個小隊の警衛により參内接伴員の迎接により控所にて休憩中 陛下には波多野宮相、内山侍從武官長以下の供奉員を隨へさせられ鳳凰の間に出御あらせらるゝや使節は戸田式部長官の案内にて鳳凰の間に進み 天皇陛下に謁見を仰せ付られ法王の親書を捧呈したるに陛下には御握手の御挨拶ありて御受納遊ばされ深甚なる謝意を宣はせ給ひ終つて特使は御前を拜辭し一且休憩室時半より豐明殿に於ける午餐の饗應にあづかり二時宮中を辭し帝國ホテルに入りたり(東京特電)

第三十七回帝國議會

衆議院(三日)

衆議院は三日午後一時十五分開會諸般の報告ありて劈頭

▽小久保喜七氏(政友)より議事の進行に關する質問ありとて登壇し登極令違反に關する質問に對し再三首相の出席を求めたるに其事なきは不都合なり依て親しく出席の上答辯あらんことを望むと述べ直ちに日程に入る

●日支銀行法案●滿洲銀行法案を一括して武富藏相より提出理由を説明降壇するや

▽池田貢次郎氏(國民)は從來の正金、臺灣、朝鮮の三銀行を活動せしめなば今更其の必要なきに非ずやと論じ且つ日支人持株の割當等につき質問ありたるが此の間武富藏相席を去りしため反對黨側は少しく氣色ばみて見えたり依つて加藤參政官登壇答辯をなさんとしたるに反對黨は藏相の出席を要望して止まず加藤參政官は壇上に立往生すること暫時此の時議長は藏相は家族に危篤に迫れるものありて退席したりと告げ反對黨之れを難せしが議長は家族親の危篤なれば致方なしと窘めたるに間もなく出席池田君の質問に答ふべしとて

▽武富藏相 登壇し正金銀行以外の各銀行ありと雖も更に日支經濟の發展を期する爲め兩特種銀行を設立せんとするに外ならずと答へ其の他の質問に對しては政府委員に答辯せしむべしと答へ退席す此に於て

▽加藤參政官 登壇反對黨の罵詈嘲笑裡に輕く答辯し伊東知也氏以下高木益太郎氏(國民)より前問を繰り返して質問あり加藤參政官之れに答へ次で

●市長取締法中改正法律案 黑須龍太郎氏(同志)登壇提出理由を説明し

▽望月長夫氏(國民)より本案には河野農相以下各參政官賛成者として記名せり政府は本案に賛成する乎否やと質問し

▽藤澤内務參政官 は自黨の議案に賛成の證明をなすは古き慣例にして雖提出に賛成すると云ふ位の輕き意味なり而して政府としては本案に賛成する能はずと答へ委員附託

●家禄賞典禄處分に關する法律案●沒禄處分を受けたる者に對する家禄賞典禄處分に關する法律案 右一括して豊増龍次郎氏(同志)委員會の經過を報告し神野政府委員は反對意見を述べ川原茂輔氏(政友)は委員長の報告に賛成し兩案共報告通り可決

●會計監査所法案●會計所法案 右一括して委員長川中爲巳氏(同志)委員會の經過を報告し報告通り可決確定

●私立學校及び公益法人の田地免租に關する法律案 委員長の要求により延期となり次で

▲瀆職上奏案

に入り愈々瀆職罪檢擧に關する上奏案を議題とし議長は、書記官をして議案を朗讀せしむ此の時議場寂として傾聽せざるはなし續て議長は提出者

▽大塲茂馬氏(無所屬)を麾くや氏は自席より上奏案なれば首相以下各大臣の出席を望むと要求し議長は其の手續きを取るべしと告ぐるや與黨より其要なしと叫び議場騷然たり此の時議長は大塲君の説明を求むと述べ依て大塲氏登壇上奏案は畏くも天聰を煩はし聖鑑を仰がんとするものなれば甚だ恐懼に堪へず然れども忍ぶべからざるものあればなりと前提し前日以來屢々議場に論議せられたる大浦子瀆職に關する事項より内閣居据りの非違に論及せるも論旨透徹せざるのみならず低調なる爲め議場の氣分更に緊張せず與黨側より一柄てないよ引込めが重も過ぎるよーと彌次り出され竟に上奏案らしき氣分なく其中には漸くにして局を結び降壇するや

▽武内作平氏(同志) 登壇本案は曩に提出されたる決議案と同一主旨のものにして曩の議験は既に理由の要なし而して本案は其の文章支離滅裂内容模稜にして事實を誤解したる點多し斯の如き上奏を爲すは不謹慎且不眞面目極まれりとし大塲氏の所論及び上奏の内容を撮摘駁論して降壇するや

▽廣岡宇一郎氏(政友)は自席より本案の主旨は要するに大浦兼武氏瀆職に關し内閣諸公を彈劾するにありと之れに對する本員等の主張は既に數回議場に述べたり本案は其の主張と同一なるを以て之れに賛成すと述べ次で

▽齋藤隆夫氏(同志)は同じく自席より斯くの如き陳腐にして支離滅裂なる案に對し特に登壇して反對演説を爲すが如きは徒らに耳を汚すの譏を免かれざるを以て通告を取消すと述べ討論終結次で議長は採決を起立に問ふ旨を宣したるに少數にて否決と爲り散會せしは午後五時半なりし(東京特電)

還元問題と各派態度
研究會少壯連の態度强硬 妥協案の成否は今明日中

還元問題に對する貴族院各派の態度に就て見るに研究會に於ける一時の大勢は還元論滔々として同會を席捲するの觀ありたるも其後に至り還元論が一轉して政變問題となるの狀勢明かとなりしより會員中には多少同問題に付き躊躇するに至りしものあり特に三島子を始め長老連は頻りに會員を慰撫して圓滿なる解決を計らんと努めつゝあるを以て大體に於て餘程緩和の狀あるも唯同派少壯連の主張强硬にして流石の三島子も之れに對しては頗る當惑しつゝあり二日夜も同會幹部の有力者會合して意見の交換をなしたるも決定を見ずして散會したり斯る有樣なれば同會今後の態度は判斷し難きも長老連が一致して圓滿解決に努力せば結局何れとか折合ふことなるべく而して上院各派とも主義としては圓滿解決を求むるに一致せるも面目を維持すべき相當の條件を得ずしては到底不可能にて結局妥協案の内容如何に存すべくそれに付ては上院各派特に研究會の態度如何に依つて決すべき筈なるが豫算審査期切迫の折なれば多分今明日中には妥協の成否決せらるべしと觀測さる(東京特電)

袁總統調停に腐心す
三條件を以て帝政を實行せんとす

袁總統は雲南との調停に就き一度熊希齡を利用せんとして成らざりしより更に英國公使を始め外人側に仲裁を依頼せんとの意嚮あるが如く而して之れが條件としては一、民意に則る憲法を制定する事二、大赦令を發し革命黨反對黨及び其他有力人物を採用する事三、政治刷新等にて之れに依りて帝政を實行せんとの意ありされど斯くの如き條件にては到底雲南の有力人物を動かすこと能はざるべしと(北京特電)

密使革黨の動靜を探偵

袁總統の密使なる北京總統府尹鴻は東邊一帶に於ける人民の帝政に對する意嚮革命黨員の動靜等を調査する爲め數日前來安二日來安せる東邊鎭守使に何等かの密告を齎へたりと(安東縣特電)

國際巡洋艦註文

[illegible]

川上滿鐵理事北京行

[illegible]模樣に依りては追つて技師二三名も出張すべしと(大連特電)

[illegible]鑛山に期待する所尠からざるが固より本年は開鑛準備のため其過半[illegible]の觀測に[illegible]地方も亦之れがた[illegible]開鑛に附[illegible]場に觸れ輸出の開始を見たるも是れ[illegible]鑛山の經營振り[illegible]同鑛業の自利のみ[illegible]態度を取らんとし公然納金の停止を[illegible]を絶たりこの種の[illegible]

北軍政府奉天軍を召集

陸軍部は北京の防備薄弱となりし爲め之を補充する必要上奉天軍を召集せんとし極力段將軍張作霖等を動かさんと試み居りしが其の結果第二十八師團の一個聯隊は北支那に入り鐵道沿線の守備に當る事となれり張作霖も雲南討伐の任に就かん事を要請したるも多分動かざるべし最近奉天軍の地位の著しく高まれるは注意すべき事なり尚ほ第二十七八師管支隊一個大隊三日奉南に向ふ(奉天特電)

土古耳皇儲自殺後報

アムステルダムに達せしコンスタンチノープル電報に曰く土耳古皇太子ソフイゼド、デキシは一日宮中に於て動脈を切斷し自殺を遂げたり原因は病氣の爲めなりと(倫敦電報)

比島民自治と米國旗

大統領ウヰルソン氏は紐育カンサス州トピカ市に於て軍備充實問題演説中若し人は比島民が自治の能力ありと認めた次第同島より米國々旗を撤去すべしと言へり(紐育電報)

使節へ勳章贈與

天皇陛下には今回來朝の羅馬法王特派使節に對し三日左の如く勳章贈與の御沙汰ありたり(東京特電)

羅馬法王特派使節 ペトレリー
叙勳一等贈與旭日大綬章

研究會大藏部會

研究會は三日午前九時より大藏部會を開き國債整理基金削減に關し協議の結果、滿場一致を以て左の決議をなせり(東京特電)

決議

一、大藏省所管歳出臨時部第七款帝國鐵道特別會計貸付金二千萬圓を削除する事

一、右削除したる二千萬圓は成る可く國債整理基金に繰り入る可き希望を附する事

附帶決議

帝國鐵道特別會計資金二千萬圓は公債其他の方法を以て調達支辨する事を政府に一任する事

東拓移民(七)
江景出張所管内
(三)移住民と地方(2)
▲移民の地方農事に及ぼせる影響(承前)

(四)●鳥蟲害の驅除及稗拔の勵行● 鮮農者の鳥蟲害に對する觀念は農法の一般組案なると同樣極めて等閑に附せられ中には蟲害の存在すら之を認めざる狀態なりしが移住民が蟲害の最も怖るべく且つ一郷共力を以て之が驅除するにあらざれば十分の效果なき理由を説き浮塵子の形態螟蟲の習性及び災害の狀況等を實物に就き之を示すに及び何れも苗代を短冊式として採卵するは勿論本田に於ける白穗枯莖の拔取りより浮塵子の[illegible]百浦驛附近に至るまで之を實行するに至りし又稻田に於ける稗の發生は從來鮮農の一向介意せざる處なりしも移住民の率先之が拔取を斷行し其結果が市場に於ける穀物相場に適切影響するを認むるに及び何れも之が實行を競ふに至れり

(五)●收穫物調製の改良● 從來鮮農の收穫物調製法たる極めて粗雜にして土砂其他夾雜物の混入するに任せたるが故に之が精製に當り特別の勞力と費用とを要し自然穀價を損すること尠からざりしが移住民の一般調製に當り總て莚を敷きて土砂の混入を防ぎ唐箕撰をなして夾雜物の除去に努むるを認め漸次之が改良の實を擧ぐるに至れるは世人の認むる處なるのみならず唐箕撰をなさゞるものも一層風撰を嚴にする等著しく其面目を改めたり

(五)副業の増加 鮮農の遊惰なる農業の時期すら時に業を休みて小安を貪るものあり況して冬期農閑に至れば何れも温突に蟄居して無爲徒食に長き期間を空費し爲めに生活に窮乏する者續出する風ありしが移住民が激甚なる異郷の寒氣にも怖れず終日製繩製莚其他の業務に從事して相當の收入を得殊に婦女子に至る迄孜々として倦まざる實況を見るに及び鮮農の懶惰放逸なるに顧み内地農業者の勤勉なるに感じ近來鮮農者にして冬期是等の副業に從事せざるもの殆んど稀に管内舒川郡の如き一里洞内に百數十臺の製莚器を据付けたるが如き盛況を呈せるは素より政府指導奬勵に因るとは云へ附近移住民の之が範を示したる功績を認めざる可からず。

◉三浦書記官入京期

前京城理事官にして現に米國大使館一等書記官たる三浦彌五郎氏は目下賜暇歸朝中なるが氏は一日東京を出發し馬山に母堂を見舞ひし後久々にて入京す可き旨同氏より或筋へ通知ありたり

◉就學兒童届出狀況 目下京城學校組合に於て取扱中なる本年度就學兒童の届出狀況を聞くに三日迄の届出總數約四百五十名にして此他龍山出張所に屬するもの未詳なりと而して本年度就學兒童總數は一千五百名内外の豫定にして昨年に比し約二百名位の增加なるべく比較的増加せるは理由なりとす又本年度就學兒童中其三分の二は朝鮮産れなりと

南言北語

ソーレ見た事か言はぬ事ではないか▲實際が云つた通り自然に戰爭も何にもないではないか▲實際彼の方面の電報は勸業債券ではないが割増付計だから滅多に當にはならぬ▲巴布札布が北京の背後を脅かさんとして張家口へ押し寄せ▲陶什陶は洮南を席て奉天に向はんとして居る事は既に報じて來たが▲又た蒙匪の一隊二萬は歸化城を占領して張家口から北京に迫らんとして居るらしい▲多分此の一隊が即ち巴布札布の一隊であらう若し巴布札布とすれば洮南、貴州邊の下手な將棋差しよりは恐るべきものである▲甲州の武田信玄がない以上袁の上杉謙信は一氣に北京を衝くかも知れぬ▲人生べストを盡して斃るれば滿足であらう其の積か帝政派は有りと有ゆる手段を盡しつゝある▲買收、懷柔、揚言中傷、離間のはては暗殺と苦心慘澹である其れで斃るゝ積りかも知れぬ▲段上將軍の如きは二百四十名よりなる混成暗殺隊と云ふ珍奇妙な一隊を雲貴兩省方面に送つて居る▲何うして何んな事をするのだらう暗殺隊と云へば大概は判るが之れも窮した結果だらうけれど笑はせものだ▲鎭守のお祭で若衆が擔いで居た袁總統と云ふ神輿がだん〳〵重くなつて上も下も出來なくなつた▲何とかすれば祟りが恐ろしいしさりとて今更ら投げ出して逃る譯にも行かず▲汗たら〳〵の片息で途迷つた末擔いだのを今更後悔しても追つ付かぬ▲氣の早いものはソツと肩を脱いで何時の間にか逃げるので今では先棒の楊君や孫君等は唯狼狽する計りだとは寧ろ可愛想だ▲之れから支那の教科書には自業自得の一例として揚さんや、孫さんを出すと丁度好い▲近頃何でも長引くが當世と見えて歐洲戰もまあ今年中はかゝると交戰國の當局者が云つて居る▲袁總統もソレ見ろ歐洲でも其れだ已ん處計りが帝政が長引く許りぢやないぞと云つて居るが何うだか▲兎に角長いものだ始の方は最う忘れて仕舞つた

八個年間靜坐實修者 甲藤大器先生著

增補 岡田式靜坐と老莊

岡田式靜座と老莊の書とは其の主旨吻合の點あるを著者八個年の靜座修養に因て實驗證明し今回更に餘談を增補して之を縱横快説せり

價八十錢 送費八錢

東京帝國大學前 振東京一七六二三 誠進堂

●特價發賣申込の好時●

銃獵之趣味

青坡 吉村君潔著

見!銃獵の手引=多獵を希望せん人= 朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり道は其の銃器を悉知せざるが爲なり 本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり 獵犬の使用と善惡を說き 朝鮮の好獵地へ案內する處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著なり

定價四十錢 特價金三十錢(郵稅六錢)

發行所 京城大和町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

新俳諧講義錄

□俳句は國民文學の粹にて本會は唯一の講習機關なり
□入會すれば何人も俳人と成る目下入會絕好機會あり
大日本俳諧講習會 東京小石川東青柳町
□見本附會則申込次第進呈

文學博士芳賀矢一先生新著

戰爭と國民性

東京神田 富山房(振替五〇一)

本書は芳賀博士が博士一流の輕快流暢の口語文を以て戰爭に關する我國民性を敍述し過去及現在に於ける國民的精神の發達由來を語り更に將來の覺悟を論せられたるものにして引例豐富趣味饒多教育家學生の歡迎を受くるは勿論軍隊教育に向つては唯一無二の指南針也 四六判金一冊百五十餘頁◉定價金五拾錢郵稅各地四錢

土地家屋 不動產競賣廣告

▲第一塲所 京城南大門通三丁目一〇三番地
▲其坪數 土地三十二坪建坪煉瓦三階建約八十坪
▲第二塲所 京城南大門通四丁目五十四番地
▲其坪數 土地九十四坪建坪煉瓦二階建約百七十坪
▲日時 來る二月十五日午前十時より同十二時迄
▲入札塲所 中華民國華商總會
▲保證金 見積金額百分ノ五

右之土地建物共今般競爭入札を以て賣却致し候間御希望の御方は御一覽の上前記の日時に御來駕被下度願上候也

京城南大門通四丁目五十四番地 王受益

近藤雪竹先生

蘭亭帖

現代書道界に名聲嘖々たる近藤雪竹先生は日下部鳴鶴翁の門に遊ぶこと多年而も漢魏六朝の墨蹟を硏鑚すること遂く經邈を超逸して別に一生面を開拓し益老熟の境に入れり本帖は褚摹禊珍蘭亭を基礎となしたるものにして獨り臨池家の津筏たるのみならず初學者の筆意を得るに最も容易ならしめんとす篤學の士は速に御購求あらんことを—

美術木版手摺 唐本仕立上製金四十五錢並製金三十五錢 送料二錢

振替東京一三八七二 東京神田南神保町 精華堂法帖店

內科 小兒科 入院隨意

京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

（大阪特電）鶴海軍工廠は職工二千名を増員した…… なり滯在は二三箇月の豫定なるが交…… 團島に取りては春風春水一時に來…… 地方購買力を增進せしめ間島經濟市…… る盛あり東滿發展の先驅として同場に潤澤を加ふるに至らんとは一般…… 豫算小豆始めて大阪市場に…… 蓋し小ならざるべし一說によれば同開より來る地方の潤利は……

支那時局と納金

雲南軍の勃起以來各省は多く觀望の……元の送附停止を要求して中央の窮乏……其窮に倣ひ……して財政困難を訴へ煙酒税約二十萬……

緬羊の群を訪ふの記
洗浦牧場ものがたり

（一）二千尺の高原＝朝鮮名物の一つ＝鞭を持つた支那人牧夫の姿＝猛虎の足跡＝手槍に熊の血＝吹雪の夜の豺の吠聲

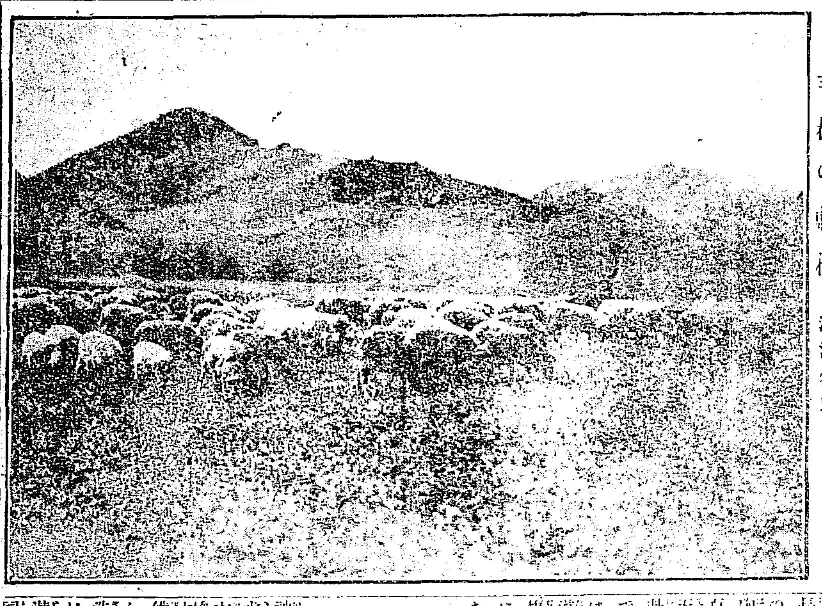
京元鐵道の洗浦驛は海拔二千尺の高原として有名な許りでなく又春から秋にかけての草花の名所として識られて居る、殊にまた此の高原には大正二年以來總督府勸業模範場洗浦出張所の牧羊場が設けられて蒙古羊の放牧を試みて居るのも朝鮮名物の一つとなつた、春から秋にかけて此の高原を通過する人は

◇淺い編代笠に長い鞭を持つた支那人が夥多の緬羊を伴てゐるのを見るであらう、而して西の方金拂浪の高原から打ち續く周圍數里の高原に一面の草花が咲き亂れた眺めを恰然緬のやうな景色だと感心して通る、昨日はまた山腹の雪に猛虎の足跡があつたとか鮮人の獵師が手槍で大熊を斃したとか毎日夕方にはヌクテが吠えるとか頗る物騷なはなしもあれど此は平和な緬羊の群が此の高原の曠野をさまよふのが如何にも長閑な景色である、目下出張所の用地となつて居るのは約二千町歩内外の平地であるがまだ豫備に用意せられた附近の山林五千町歩まで加ふれば蓋し莫大な廣い牧場となる、始め此の地に

◇蒙古羊を七頭を伴れて來たのは大正二年の冬期十一月頃であつたが越えて三年の四月には滿洲鄭家屯法庫門地方から約四才九頭蒙古羊が屆き後ち同年の九月には又咸鏡北道圖滿江の對岸から五十頭を輸入し翌大正四年八月には又七十九頭の羊が來て總計百八十五頭居るけれ共今では又洗浦牧羊場で産れた仔羊が約五十頭許り增して親羊となつた、これ等の緬羊は昨今の結氷期でも雪さへ無ければ毎日此の高原を遊び廻つて居るが毎年四月下旬に此の高原の草が萌え出すまでは唯だ有日の運動に止め一日の大部分は暖かに羊舍に圍はれて居る、羊舍は又南向きの山の手に完全な木造家が三棟ほど建てられ入口の前には柵で圍まれた長方形の運動場があつて羊の飼料は中央の草架から自由に食まれるやうに設けられてある

◇羊舍の一隅には長い水槽と四角な鹽桶が設かれてあるが羊には毎日鹽を與へるのが最も必要であつて鹽に乏しき滿洲蒙古では飼主の尿を飲ませるとか又鹽湖のある地方に伴れ行き鹽の不足を補うて居るといふ、此處の羊は頗る人によく馴れて居る、試みに手を差出せば何の恐氣もなく寄つて來るのも可愛ゆくまた其の全身はむく〳〵した綿毛で蔽はれて居るのは他所にも劣らぬ好成績であるといふ、猶ほ第二號羊舍には羊毛に於て遙かに蒙古種を凌ぐ洋種メリノーも飼はれて居るが何うしても氣候風土の上から此所には蒙古種が適當であるといふはなし、昨今寒さ烈しき吹雪の夜などは事務所のすぐ

◇裏で物凄いヌクテの吠聲を聽くこともあるが此處のヌクテは野獸の餌が多い爲めか一向緬羊を害しようとも爲ない、尤も猛獸の襲來には充分の防禦が出來て居るけれども……



羊群の戯れ＝洗浦牧場にて＝

歩砲兵聯合の寒中行軍
六日龍山出發 露營生活研究

龍山駐劄步兵第三十五聯隊にては冬期研究委員長工藤少佐並びに各中隊長及び野砲兵第九聯隊第一中隊長等の指揮にて來る六日より同聯隊及び砲兵第一中隊より選拔せる二年兵百五十名を引率し寒中强行軍を爲し天幕生活の演習を試みつゝ水原に進むべくその日程は六日より十日まで五日間にして行程五十餘里第一日は漢江を渡河して西氷庫を經龍仁街道より龍仁憲兵分隊所在地なる金良場に到り同地に露營し第二日は陽智に到りそれより夜行軍にて水原に赴き十日强行軍にて歸隊する由

日本にて飛機製作
日置大尉の留學

神戸川崎造船所にては最近時代の要求に伴ふ飛行機の製造を企て社長松方幸次郎氏は直接これが計畫に當り居りしが愈今回元海軍飛行將校豫備海軍機關大尉日置釭三郎氏を招聘し日置大尉は既に追濱より來神川崎造船所所員として日々出勤し居れるが近く伊太利フキヤット會社所有の潛航艇特許權利商收のため渡歐する同社長と同伴して

▲佛蘭西留學 の途に就くべく滯歐二年の後歸朝して同造船所飛行機製造技師たるべしといふ右につき氏は語る予は世界唯一の飛行場ある巴里郊外イシレーム、ルーノ飛行場に入り主として發動機に關する研究を遂げ若し佛蘭西政府にして許すなら

▲戰場に往つて 實際をも見學して見たいと思ふ、飛行界は實用的又は實戰的に進んでゆくと思ふがこれを歐洲戰爭について見るに複葉は攻擊用に單葉は偵察用に用ゐると云ふ原則を十分實地に應用してゐるのは我が航空界の見倣ふべき點だ、それにして飛行機の肝要部分たる發動機を我國で

▲完全に製造 し得るやうに努めるのが急務である、曲乘り飛行家ナ氏の妙技に世人は驚嘆してゐるがこれも進步せる發動機と機體の賜が普通飛行機と違つて居るからで若し我が飛行將校でもナイルス氏所有の機に乘せれば曲乘り飛行を見事にやることが出來ると信ずる（大阪支局）

高田丸沈沒
外國汽船と衝突

巴里ファックス來電に依れば日本郵船株式會社所有臨時貨物船高田丸とシパーシェル丸の兩船は加奈太ニユー、ファウンドランドレース岬沖合に於て衝突し高田丸は沈沒したるものゝ如しと（紐育電報）

間島領事分館を襲はんとす

暴徒 正月元旦を期し頭道溝の日本領事分館を襲擊せんと企てたるも日支警戒の嚴なるに辟易し未遂に終りたり其後も引續き支那巡警は依然警戒を解かず步哨を配置し萬一を警めて居れりと

壹岐丸無線電信

昨夏關釜連絡船壹岐丸に無線電信の設備をなしたるが愈々兩三日中に船内に二等郵便局を開設し無線電信に限り取扱ふ事になりたり

明治町宵の格鬪

京城黄金町二丁目百十四番地居留傭商支那人袁耆倫（三八）は二日午後九時二十分頭寶掛代金を集金して歸宅の途次明治町の物蔭より一名の曲者現はれ集金袋を強奪せんとしたるより抵抗したるも足駄にて眉間を强打され卒倒したるが急報に接したる本町署にては詰合ひの重久刑事時を移さず現場に急行し件の男を取押へ本署に引致せり集金袋には現金二十一圓餘及び集金帳其他二三點入り居り賊は漸く山口縣生れ當時京城北部堅志洞居住の無籍太田元吉（三二）なる旨白狀せり

…るが餘罪ある見込にて尚ほ引續き取調中

強盜十三年

京畿道廣州郡生れ飴行商李龍善（三八）同金川郡生れ無職金錫俊（三二）の兩名は强盜罪に依り京城地方法院に於て塚原裁判長里見有澤兩判事陪席圖部書記の係河村檢事の立會ひにて龍善は懲役十三年錫俊は同十年の處分となれるものなるが右は昨年十二月中廣州郡内て婦興郡北面の金永錫方に突入し繩にて家人を縛し刺身庖丁を以て脅迫し現金二圓七十錢を強奪し同月二十四日夜には高陽郡延禧面金順澤方に侵入し同樣手段にて家人に負傷させて强盜をなしたるものなり

春近し＝杏の枝の手入れ＝

拳銃強盜の處刑

京城黄金町生れ黄致澤（二二）は詐欺取財、强盜、竊盜の三犯の前科者なるに在監中懇意となりたる林某と共謀し一月七日午後京城本町二丁目二十九番地なる質商金德浩方に突入し同家雇人李源泰を麻繩にて縛り拳銃を擬して脅迫し現金四圓懷中時計十個外數點を强奪したる爲め此程京城地方法院に於て懲役十五年の處分となりたり

辻强盜は十年

京城府東署生れ當時京城青葉町金榮春方雇人韓仁植（二四）は高相俊なる者と共謀し一月十日夜京畿道始興郡北面大方里街道の路傍の物蔭より現はれ通行人なる同郡李聖三、崔九三、李炳徹、申奇鉉等を一人〳〵引つ捕へて追剝强盜をなしたるを手初めに一月十四日夜にも高陽郡往十里街道にて通行人を引つ捉へ棍棒にて毆打し或は拳銃にて脅迫して辻强盜を働きたる爲め高陽署の手に檢擧され京城地方法院に於て合議公判に附せられ塚原裁判長里見有澤兩判事陪席圖部書記係維檢事の立會にて懲役十年の處分となりたり

車座の罰

廣島縣生れ龍山元町居磯尾吾一（三二）石川縣生れ元町居後藤伊三郎山口縣生れ青葉町居藤本ます（五二）山口縣生れ青葉町居原田つる（四三）福島縣生れ元町居武村なえ（三三）京都市生れ元町居松田きみ（二八）等の男女は昨年十二月二十日より翌日迄前記きみの居宅に於て賭博を爲し車座になりて花札を繰り居る所を龍山分隊の手に取押へられ此程京城地方法院に於てますは賭博前科者なるより懲役六箇月吾一、伊三郎、つる、てえは各罰金二十圓きみは同十圓の處分となりたり

大膽女中の公判

釜山辨天町大惡吳服店女中今村いつ江（一〇）が主人の金子八百圓と金側時計を窃取し釜山座の一等席を買切り豪然と構へゐたるを其筋より引致されたる窃盜事件は三日釜山地方法院にて森浦檢事照島判事の係にて公判開廷

恩典者の盜み

京城芹洞生れの金俊京（二二）は窃盜罪に依り四十四年中懲役二年大正二年中同二年の處分を受け減刑の恩典に浴し出獄したるものなるに一月廿七日京城本町四丁目朝日屋にて朝日煙草外五點（三圓七十八錢五厘）を窃取し京城地方法院にて懲役五年の判決となりたり

笞九十

廣島市生れ中西戒一の自轉車一臺横領は懲役三箇月▲京畿道通川郡の承基正（三二）の横領五圓は笞九十▲京城南大門生れ金漢基（三二）の一圓六十錢横領も笞九十▲京城天然洞の朴明鉉（三二）が叔父より借金の催促を受けて毆打したる一件も亦笞九十に何も京城地方法院にて處分せられたり

青木商會の光榮

京城本町青木商會にては今回露國大公御來京につき隨員を經て露國菓子を獻上せしに御嘉納ありたりといふ

朝鮮

重石、苧麻、松粘蜥子
忠南第一部長 澁谷元良氏談

歐洲戰爭が各方面に影響を與へた事は言ふ迄もないが重石（タングステン）への影響も蓋し鮮く無い初め噸一千圓位のが今では四千圓位に暴騰してる本道の重石は蓋し今の處朝鮮一たるの名に背くまい其鑛脈は各所にあるが就中芙江、瑞田、青陽、忠州と云ふ産地を見ると一脈を爲して居る樣にも思はれ苧麻は昔から朝鮮一で殊に大に盛んな事もあつたが一度衰微して近年又盛大を來すに至つた處女手で年額四十餘萬圓（十三五萬匹）の副業は決して馬鹿に出來ないと思ふ牛皮の量は未だ言ふに足らないかも知れないが質から言へば正に朝鮮一で忠南牛皮と刻印があれば他道のより値よく捌けると云ふ松粘蜥子の害は全く閉口だが現に角朝鮮一には違ひ無い昨年は十二三萬の人夫をして三萬町歩の山狩りをやらせた而して一方赤松林を濶葉樹林に改造する計畫を立てゝ居る一體我道の道は廣く決して廢からず然も山の幸海の幸に滿ちて山には石金砂金あり重石あり牛あり其他藍浦石（硯石の原料）連山の紙、矛山のアケビ、公州の桐、柳箕其々民を賑はしてる

明太魚、大處女林
咸南第一部長 菱田義民氏談

明太魚の咸南道を露はす事蓋し鮮少でない 明太魚は殆んど道の産額を以て十三道へ供給し其の年額百萬圓を以て數ふる魚の漁期は十一月から二月迄だが本年度は十二月迄非常な不漁であつたのが今年に爲つて一度に漁れ出し一月に入つてから十五日迄に四萬駄と云ふ盛漁で終期迄には十萬駄は漁れる見込だが一駄十七八圓から二十圓とすれば百七八十萬圓から二百萬圓近くなる其れで進洞、新浦、前津其他の海岸漁民は戰爭の樣に騷いでゐる總面積千七百方里中奧は咸興から七十里も入り然も其奧には人跡未踏の大處女林があり正に珍とすべきには足るが其れ欠け農作物等の誇るべきものは無い併し是れ或は敢て朝鮮一と稱してもいゝかと思ふのは納稅の好成績な事である更に定住者中に滯納處分に處した者なくあれば必ず他の轉住者で他道の囑托に依るものである御大禮記念事業として神社建設、植樹、模範農里、採種圃、模範桑園、貯蓄組合、改道改修等の諸設備はしたが總て他道にても爲された事であらう

京日案内

◎普通 一回一行金三十錢（無割引）四行一回毎に金五錢增

◎新聞配達人 至急要集す身體强健にて希望者本人直接來談 新龍山漢江通 町田新聞舖 327

◎配達夫募集 十六七より廿一二歲迄市内身元保證人本人來談の事 北米倉町電話一五四七 玄米乳店 325

◎古本買受 御報參上 京城本町二 電話二五二七 振替二二三七 ウツボヤ書店 318

◎看護婦募集 希望者は履歷書攜帶本人來談あれ 仁川 小倉病院 320

◎外交員採用 月給十五圓以上希望者は履歷書攜帶本人來談 京城花園町一〇八二番 帝國圖書普及會朝鮮支部 321

▲讓店 賣れ行良好なる有望菓子舖且居住に最便なる金部共讓る希望の方は電話二九四九番へ 323

◎給仕募集 十六歲小學卒業以上内要確實保證人一人午前履歷攜帶來談 旭町二ノ上る電話一一二五（〇）朝鮮雜誌社 324

◎店員入用 商業に經驗あり身元引受人ある廿一歲以上の者一名至急入用 ◎京城本町二 ウツボヤ書店 317

◎讓店 場所本町二丁目の目拔の通り希望者至急來談 ◎京城黄金町三丁目（櫻井町曲り角）平野古物店 316

◎番外 一回一行金六十錢（無割引）四行一回毎に金五錢增

恩給年金類立替 ▲勸業貯蓄債券月賦販賣即金買入 京城本町二丁目五三 京城銀行横小路入 吉田屋 322

▲菓子製造販賣店急讓る 諸國の爲製造道具一切附極安價に至急讓る希望者は案内係迄御照會あれ（但所在は地方）姓名在社 326

人蔘キヤラメル…… キヤラメルは…藤商會の（割引券附）に限る……本品は至る所の食料品店菓子店に販賣し居れり 201

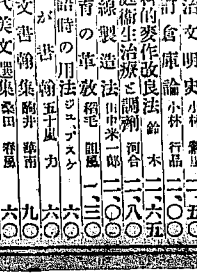
茶花琴教授 發金料殿月謝のみにて教授す 前通東修及從太平通二ノ一四一朝鮮公論社南側西入一丁南大門學校北東）木本與志惠 300

春川 忠州及咸田舍行馳馬牛身取扱 原州代理店◎忠州二軒谷運送◎春川桑本運送 京城鍾路五丁目 電話二三九一番 酒井運送店 309

◎質 京城吉野町一丁目（南海湯下際）南海質店 完全なる倉庫の設備あり 191

京城日報 初號より四十三年迄取揃へ相當代價にて讓受たし（住所姓名在社）

合資會社 吉川製油所 大阪 名古屋
テレメン油、テール油 木材防腐殺虫消毒 鈴印クレオソート油 殺菌消毒 バクトリユウム 全精製コールタール
全 ベンゾール カストル油、牛脂 ボイル油 桃印菊水印 遂印錨印 其他諸油脂塗料類

●新案アンクル式片側懷中時計●

機械堅牢示針正確價格低廉にして然も實用的に價格の低廉なる事天下無比
ニツケル側・鐵側・銀側・金鍍金・同（機械裝飾）・同（兩蓋）・ラヂユーム付・金張側・十八金 等 各形 一圓四十錢より百五十圓迄
右は今回當商會にて新に直輸入せしものにて店に無き新著の商品にて不商會獨り御度に地方遠隔の御注文に對しては急速小包郵便にて御送附申上候
時計蓄音器、ミシン機械自轉車、洋酒、各國貨直輸入商
本店 京城本町二丁目電話九七二番 イングレッシー商會

新刊書御案内 大阪屋號書店 京城本町電話二〇八六番振替京城二五七三
書名	著者	定價
◎日本歷史通覽	高桑駒吉	四、〇〇
◎明治文明史	小林鶯里	二、五〇
◎改訂倉庫論	小林行昌	二、〇〇
◎肥料的麥作改良法	鈴木	二、六五
◎家庭衞生治療と調劑	河合	二、八〇
◎電線製造法	田中米一郎	二、〇〇
◎教育の革敎	稻毛詛風	一、三〇
◎佛語時の用法	ジユ、プスケ	六〇
◎我が書翰	五十嵐力	六〇
◎英文書翰集	駒井樺南	九〇
◎現代美文選集	桑田春風	六〇
◎朝鮮の金鑛	野田長作	一、〇〇
◎新式初學作詩法	平井碧堂	七〇
◎安心錄	南條文雄	七〇
◎宇宙（縮刷）	三宅雄二郎	一、五〇
◎從軍三年小敵大敵	瀧川麥耳	一、三〇
◎禪心錄	近重眞澄	一、〇〇
◎新譯西國立志編	栗原古城譯	一、〇〇
◎日蓮	村上浪六	七〇
◎野心論	澤柳政太郎	一、二〇
◎尋常小學校算術基本教材の解説及取扱法	松澤清吾	一、五〇

履物問屋 井筒屋田中弟 大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町 電話東百九十番 振替大阪四一八一
御一報次第見本相場表御送付可仕 大阪履物業進會にテ每月一回定期ノ送付ハ特約取次

京城學校組合告示第一號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正五年一月十日
朝鮮總督府京城府尹 金谷充

千生瓢 (115)

須藤南翠作　筒井年峰畫

忠烈（二）

命を奉じて乘馬は牽き出された。勝家は兜の緒を固く結んで、既に馬に乘らうとした。此時大息切つて馳せ付けた注進があつた。勝家は乘馬の手綱を後に持ち添へたまゝ、きつと其方を顧みた。

この注進は本陣の先手を承はつた水野小右衛門の使者であつた。彼は流るゝ汗を拭ひもやらず、

『……へ歸城と相見えて候ふ。加之佐々内藏助殿、又左衛門歸城の上は、彼が向背知り難い。若し府中に於て喰止むる事あらば、一大事であらう。彼奴が府中を取り切らぬうち、疾く勢を纏めて越中に歸り、固く籠城せねばならぬとあつて、二萬の大軍を繰り退きに引き上げられて候ふ』と大息になつて注進した。

前田が頼もしき味方でない事は、勝家も能く知つてゐた。佐々は決し

『志津ヶ嶽の味方散々に打ち破られて、敵已に間近く寄ひ參つて候ふ。此大軍に向つて合戰は思ひも寄らねば、早々御陣を御引きあつて然るべう存じ候ふ』と言上したのであつた。勝家は聞きも訖らず、馬に飄然とうち跨つた。

『城を出で、陣を張りながら、敵を見て戰ひを交へず、空しく脊後を見する法はない。戰ひは勢の多寡には依らぬものぞ。いで逆襲して一當あてゝくれう』

馬の頭を立て直して、進み出ようとする時、また注進が來た。是れは後陣よりの使者であつた。

『前田又左衛門殿父子、一隊の勢を陣所に殘したまゝ、勢を纏めて府中

て前田と同じ事情のあるものではない。戴を倒にして秀吉に阿附する大將でない事は、今が今まで固く信じて居た。唯だ此の敗戰に當つて、自分と運命を同うするか否かは、素より疑問であつた。一兵を損せぬうちに、領國深く引き揚げて、險要に據つて敵を待つのも、亦一策であらうと、考へない事ではなかつた。

前田風情の小人數は、踏み破つても通るべき成政の、常に似合ぬ分別が、勝家には合點が往かなかつたが、今は之を咎むるとも詮のない事になつた。自分は素より老軀を以て敵に當り、潔よく最後の合戰して、志の厚かつた諸將の恩に酬ゐようとするのみであるより、後陣の開けた事にも、別段深く感じは起さなかつた。其よりも心細かつたのは、七千の味方に、戰意のない事であつた。戰はぬ先に氣落ち力衰へて、些の勇氣も揚らぬ事であつた。

勝家は偶然呵々と笑つた。一死を期した戰ひに臨んで、僅の味方を恃まうとした心の、我にもあらぬを笑つたのであつた。やがて斷手として戰意を固めた。鞭を揚げて乘馬に加へようとした。

『あゝ、いや殿、暫らく』

彼方より聲をかけて、つかつかと進み出た者がある。勝家はまたしても出陣の氣を挫かれて、憤然として其人を睨め附けた。

『暫く御馬控へさせられい、憚りながら毛受勝助家照、一言申し上ぐる事おざりまする』と走せ緰つて馬の口を緊乎と捕つた。

勝家はハッタと疾視へて

『今に臨んで何を申す。敵此處に押寄せては、攻守ともに便が悪いわ。言ふ事あらば疾く申せ』

『如何にも申し上げまする。殿には其御馬を北に向けて、疾く本城へ還ませられい』

『何と申す、勝助、敵は南より押寄するわ』

『左ん候ふ。今日の合戰、殊にては却々一戰も仕ひ申さぬ。早々御馬に鞭を當て、夜を籠めて北之莊に御引き返し爲させられい、憚り多き申し條おざりますれど、御馬標と御姓名は斯く申す勝助に御預け遣はされ、一刻も早く御歸城遊ばさるゝやう、勝助強つて御諫言申し上げまする。いざ早く、いで速かに』

長照は一心に瞼つた兩眼から、血涙を迸しらせて、面を冒して苦諫するのであつた。

兒玉大將の友誼（寄稿）

於東京　三枝光太郎

一、私は茲に私の知れる上長の一美談として、兒玉陸軍大將（○○○○源太郎伯）の生前、極めて友誼に厚かりし事實の一班を闡明せんとするに際し、兒玉大將を主とし、桂公を客として記述を試み、以て讀者の瀏覽に供せんと欲す。

二、回顧すれば明治二十八年盛夏の候、桂公（當時四十九歳）は、尚ほ無官の師團長（名古屋）で、適々御用の爲め上京中、無端、大患に罹り、赤十字病院に入院し、引續き在院無慮七旬の久しきに渉りたるのみならず其間再三危篤に瀕し、殊に其の病症の如何なりしやは、當時或る事由の爲に秘密に附せられたるも、實は虎列剌病にして、後更に一種の熱病に變じ、牛乳、鶏卵等の外は、殆ど全く口に入らず、絶食三四週間の長きに及び、憔悴、枯槁の極に達した。

三、其時、桂公の刎頸の友たりし、兒玉大將（同上四十四歳）は、恰も大山元帥の下に陸軍次官として、一方には日々凱旋諸軍の歸來あり、外は劉永福等の尙ほ我が皇師に抗するありて、近衛第四兩師團等の臺灣經略に向ふ等、日夜劇務山積の裡に在りたるに拘はらず、桂公の入院と共に、其の病室に隣せる一室に陣取り、爾後毎朝同病院より陸軍省に出勤するなどし、又退省時刻よりは、直ちに病院に歸來し、晝夜專心、自から治療看護其他の諸事を指揮監督して苟も之を他に委せず、且つ公の入院中は終始、同院内に宿泊して、公務にあらざれば公の傍を離れず、懇切周到、所謂、湯薬先づ嘗め、衣暖を解かずとも稱すべき慨ありし其效空しからず、之が爲め公は幸に九死に一生を得た。

四、桂公は爾來漸く快復季に入りしが、一後、一夜、公が始めて鯛の刺身を試食せむかと謂ふや、豫て同病院に詰切り居たる兒玉大將は、之を聞くや大に悦び、適々同夜より翌日に渉り、非常なる暴風雨なりしにも拘はらず、黎明早く既に澁谷なる赤十字病院を出で、馳せて日本橋の魚河岸に赴き、潑溂たる鯛魚數尾を精選し、手づから携へて歸院し、且つ自から庖丁を執つて之を料理し、親しく之を公に侑めたる一事が、公の大患以來、始めて箸を手にするに至れる動機となり、爾來日を逐て彌々快方に向ひ、遂に全快するを得たり。

五、叙上の佳什は、後日、偶々他と兒玉大將等の月旦に及びたる話次、桂公が深く感歎しつゝ、親しく私共に物語りたる事實である。

六、其後、明治三十二年、私は事以て渡臺し、兒玉大將（臺灣總督）を訪ねて閑晤したる際、同大將は『予は昨年臺灣總督に就任したる以來、窃に左の二事を決し居れり。』

一、總督在職中は、假令如何なる侮辱讒謗に遇ふとも、一切怒らざる事

二、假令何時辭職するも、即日、後任者に引繼ぎ得らるゝ樣、常に萬事を整へ置く事

と語りたるを聽きたる事あり、餘事ながら又同大將の逸事的美談として亦傳ふるに足ることであらうと思ふ（未完）

短文募集

短文を募集す、行數約三十行たること、或は高踏的文藝も可なり、又或は趣味汪溢する若説も可なり、要は讀者をして共鳴せしめ得るに足れば可なり、毎日募集、毎日發表、京城日報編輯局『短文係』宛

◉鮮明美麗な畫報　東京市京橋東京社發行の『婦人畫報』は寫眞鮮明美麗且つ高尚優雅にして有益多趣味なる讀み物を網羅し婦人雜誌中一頭地を拔けることは世間定評あるところなるが同誌二月號には井川洗厓畫伯の美人畫『白梅』を卷頭に御正裝の竹田宮妃殿下に東伏見宮妃殿下の鮮明なる御寫眞を始め奉り[illegible]さはいはん方なく讀み物には新渡戸博士の『[illegible]』[illegible]の外面白きもの數十題あり定價廿五錢市內各書店にあり

商況

大阪三品

[illegible]十三圓九十七錢止め九十五錢

下關期米

[illegible]

市場の閑散

[illegible]

◉仁川驛營業成績　一月中の仁川驛營業成績を聞くに乘車人員三千八百二十五人降車人員三千百八[illegible]

◉仁川移出米仕向地　仁川[illegible]一月上半期簸移出米仕向地別及び數量を聞くに大阪一萬四千百四十叺神[illegible]

◎ミツワ椿油

熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髮の衞生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

定價　小罎入……金二十錢　中罎……五勺入……金三十錢　大罎……一合入……金五十五錢　罐入……五合入……金二圓五十錢

毛髮には何故椿油が宜いか。

と謂ふと、純正な椿油は不乾性油と云つて、流動の性質を失はず、滲込む力が強く、變敗する憂ひがなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

椿油にも不完全なものが多い

熱し椿油と稱しても、完全に椿油の特色を發揮するものは先づ無いと云つて宜い位で、或は非度く酸化して居たり、或は色を薄くする爲に白絞（種油）を交たり、結土、日光、アルカリ等で處理して一見純粹の椿油と違はぬやうでも其の性質は變つてゐるものが多いのである。

◎ミツワ椿油は製造法を改良して、冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油で平素此ミツワ椿油を使つてゐると毛髮に滲込む力が強いから、

毛髮の發育を助け

且つ艶且つ色黑く艶を麗はしくし、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸結果、漂白と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い髮を除き、凝つた臭氣を發する等のことも無く、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。

贅澤で、經濟で、而して最も優良な

◎三百番香水

定價　各種一均　小罎入……金五十錢　中罎入……金一圓五十錢　大罎入……金二圓五十錢

種類　ヴァイオレット（すみれ）　ローズ（ばら）　リリー（ゆり）　ムゲット（花の名）　ミモーサ（花の名）　ブーケー（花たば）

◉三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。

◉香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を異にするものを發賣いたしました。更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫であります。

◉香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。

◉普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　◎丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號○ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番　電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇〇番

登錄商標　瓢水味淋　堺　鳳鳴醸

專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

滿蒙處分論　露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯著　定價金一圓　郵税本社負擔　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇

瀨戸皮膚科外科醫院

旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀨戸潔　（電話二四九八番）　診察夜九時まで

山東　關東　青島　原鹽　再製　粉碎　各種販賣　仁川濱町八　鹽販賣所　電話二四〇

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行　淡路丸　二月十八日　正午出帆
竹島丸　二月四日　正午出帆
高砂丸　二月十二日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航航所屬航路、滿洲航路を除く）同航路の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　大智丸　二月十五日　午後五時出帆
×吉辰丸　二月九日　午後五時出帆
須磨丸　二月十二日
○木浦、釜山、長崎行▲は鎮南浦に寄港　安東丸　二月九日　午後二時出帆
城津丸　二月十七日
×○大連行　安東丸　二月五日　正午出帆
城津丸　二月十三日
◉群山關門神戸大阪行　大智丸　二月五日　後五時出帆
溫州丸　二月六日　後五時出帆
○群山、釜山、橫濱行　チヨイサン丸　二月十日　午後四時出帆
漳州丸　二月十九日
○大連直行　澤州丸　二月十四日　正午出帆
チヨイサン丸　二月五日
○清津、浦潮行（元山出帆）　久北丸　二月十五日　午後二時出帆
北丸　二月八日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　平丸　二月十一日　午前十時出帆
高丸　二月十六日
京城切符發賣所　電話二〇番

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇番　五五〇

京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　二月九日　後四時出帆
大有丸　二月十二日　後四時出帆
神代丸　二月五日　後四時出帆
蛟龍丸　二月十五日　後四時出帆
君が代丸　月　日
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船

全羅丸　二月十二日
京畿丸　二月廿二日　釜山發
黃海丸　二月十六日
成鏡丸　二月六日
總城丸　二月
昌平丸　二月十一日　元山發
鏡城丸　二月七日
永興丸　毎月廿八回　元山發
盛德丸　二月五日　釜山發
江陵丸　每日（釜山）（浦項）發
襄陽丸
三浦丸　二月八日　釜山發
海州丸　巨濟丸　旬日　釜山發
統營丸　慶尚丸
順天丸　三日目每　木浦發
慶興丸　二月五日　木浦發
公州丸　二月十一日　木浦發
公州丸　二月七日　木浦發
金州丸　二月五日　仁川發
江原丸　二月五日　仁川發
麗水丸　二月十二日　仁川發
晋州丸　二月七日　仁川發
錦江丸　每日午前　仁川發
南陽丸
京城南大門驛前　松原運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　二月八日後五時出帆
○元山清津浦鹽行　立神丸　二月十七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　二月十五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　二月十　日後六時出帆
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行　天昇丸　毎月三日九日十三日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

第一共同丸　二月六日　後二時入港
大連行　二月八日　前九時出港
第一阪鶴丸（元山出帆）　月　日　後九時入港
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日　出港
第三阪鶴丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店